竹富町新たな労働力確保 創出検討調査事業

報告書

令和 2 年 3 月 竹 富 町

一目次一

第一章	章 竹富町新たな労働力確保創出検討調査事業の目的等	1-
1.	竹富町新たな労働力確保創出検討調査事業の目的	1 -
2.	竹富町の人手不足の現状	2-
第二章	笋 アンケート調査結果	6-
1.	調査概要	6-
2.	調査結果(事業所調査)	7 -
3.	調査結果(高校生調査)	- 19 -
第三章	笋 ヒアリング調査	- 24 -
1.	調査概要	- 24 -
2.	調査結果	- 24 -
第四章	章 竹富町における労働力不足解消に向けた取組の検討	- 28 -
1.	竹富町における人材不足の要因と人員確保における課題·	- 28 -
2.	竹富町の人材不足解消に必要な取組の検討	- 29 -
3.	通信制大学に関する事業の実現可能性について	- 31 -
第五章	ぎ 通信制大学に関する基本情報の整理	- 35 -
1.	通信制大学の基本情報	- 35 -
第六章	章 調査資料	65 -
1.	事業所アンケート調査票	- 65 -
2.	石垣市内高校生アンケート調査票	- 73 -

第一章 竹富町新たな労働力確保創出検討調査事業の目的等

1. 竹富町新たな労働力確保創出検討調査事業の目的

竹富町において、高齢化や担い手不足などにより労働力の低下が危惧されていることから、労働力不足の解消と確保を図り、産業の安定化と効率化に取り組むために、町内で働きながら通信制大学に通う学生に対し助成を行う事業を構想している。

そのような事業の実現に向け、前段階として事業者や通信制大学への調査を行い、事業実施上、予測 される問題等を多角的に考察し、事業実施の基礎資料とすることを目的として、調査を実施した。

2. 竹富町の人手不足の現状

(1)増加が続く求人倍率

沖縄県内の職業安定所別に一般職業紹介状況をみると、八重山では新規求人倍率、有効求人倍率ともに、局計(沖縄県全体)を上回っている。局別にみると、新規求人倍率は最も高く、有効求人倍率についても、宮古に次いで第二位となっており、人手不足の状況がうかがえる。

項目	A 新規求職申込件数	B 月間有効求職者数	C 新規求人数	D 月間有効求人数	E 新規求人倍率 (C/A)	F 有効求人倍率(D/B)
局計	70,342	25,498	128,028	30,442	1.82	1.19
那覇	36,146	13,423	68,735	16,609	1.90	1.24
沖縄	23,187	8,748	38,531	8,974	1.66	1.03
名護	5,193	1,564	8,276	1,903	1.59	1.22
宮古	2,933	891	6,247	1,510	2.13	1.69
八重山	2,883	873	6,239	1,447	2.16	1.66

出所:厚生労働省 沖縄県労働局

また、有効求人倍率の推移をみると、八重山では平成 26 年から 1 倍を超え、令和元年まで求職者数よりも求人数が多い状態が続いている。沖縄県全体と比較すると、平成 24 年までは同程度で推移していたが、平成 25 年以降は徐々に差がみられるようになり、平成 26 年以降は約 0.4~0.5 倍の差があることから、八重山地域では沖縄県全体よりも人手不足が深刻化していることがよみとれる。



平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和元年

──沖縄県 ──八重山

出所:厚生労働省 沖縄県労働局

(2)人手不足の要因

平成 26 年以降、有効求人倍率が 1 倍を超え、令和元年では 1.66 倍と人手不足の状況が続いているが、求人数の増加の要因として、入込観光客数の増加が考えられる。

平成 24 年までは、100 万人以下で推移していたが、平成 23 年に開港した新石垣空港の影響もあり、 平成 25 年には入込観光客数が 100 万人を超えている。平成 26 年をピークに、徐々に下降傾向にある が、直近の令和元年も、依然として 100 万人以上の観光客が竹富町を訪れている。

有効求人倍率は、平成 26 年に 1 倍を超え、その後上昇傾向で推移し続けているが、平成 25 年に観光客が急増したことにともない、観光関連産業の求人も急増したことが影響し、人手不足の状況が続いていると考えられる。

				地	域				(人)
	竹富	西表島計	小浜	黒島	波照間	鳩間	新城	加屋真島	合計
平成22年	369,874	304,159	140,725	30,087	27,567	8,856	3,195	4,101	888,564
平成23年	343,063	254,011	112,988	27,319	30,597	5,419	2,596	2,818	778,811
平成24年	388,903	284,995	140,892	29,506	25,866	5,911	2,248	2,394	880,715
平成25年	457,207	346,401	182,627	28,216	29,725	7,810	3,190	1,944	1,057,120
平成26年	519,641	379,727	182,794	30,428	34,744	6,407	3,529	2,150	1,159,060
平成27年	511,413	387,952	184,001	28,428	30,365	6,076	3,175	2,182	1,153,592
平成28年	481,823	329,917	190,264	23,770	35,921	4,263	2,974	2,679	1,071,561
平成29年	513,328	315,294	177,041	23,172	40,963	4,942	2,938	1957	1,079,635
平成30年	506,573	301,414	164,081	25,591	39,478	4,157	3,097	1,796	1,046,187
令和元年	512,388	290,313	153,373	23,655	38,212	4,033	3,262	1,354	1,026,590

出所:竹富町ホームページ

(3)事業所数・従業者数の変化

「建設業」、「製造業」、「運輸業、郵便業」については、平成 24 年から平成 28 年にかけて、従業者数が減少している。一方、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」などの観光関連産業については、入込観光客数の急増後の平成28 年には、平成24 年と比較すると従業者数が大きく増加している。

業種により、従業者の増減に差はみられるものの、有効求人倍率は上昇傾向で推移し続けていることから、従業者が減少した「建設業」、「製造業」、「運輸業、郵便業」や、観光関連産業については、特に、人手不足が深刻である可能性が高いと考えられる。

		事業所数(所		従業者数(人)		
	平成24年	平成28年	増減数	平成24年	平成28年	増減数
A農業,林業	6	6	0	42	39	-3
B漁業	2	2	0	11	16	5
C鉱業, 採石業, 砂利採取業	***	***	-	***	***	-
D建設業	15	11	-4	128	69	-59
E製造業	28	25	-3	265	192	-73
F電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	0	1	1	0
G情報通信業	***	***	_	***	***	_
H運輸業, 郵便業	41	36	-5	261	218	-43
I卸売業, 小売業	58	54	-4	203	196	-7
J金融業,保険業	2	***	_	4	***	_
K不動産業,物品賃貸業	27	19	-8	61	55	-6
L学術研究,専門・技術サービス業	7	9	2	26	40	14
M宿泊業, 飲食サービス業	163	155	-8	736	774	38
N生活関連サービス業,娯楽業	57	58	1	195	267	72
O教育, 学習支援業	7	5	-2	25	10	-15
P医療, 福祉	2	5	3	45	56	11
Q複合サービス事業	7	9	2	22	25	3
Rサービス業(他に分類されないもの)	8	8	0		29	7

出所:経済センサス活動調査

※「***」は、不明または存在しなかった業種

(4)人口の増減による人手不足への影響

平成 27 年度の人口総数は 3,998 人で、平成 22 年度から微増となっている。また、人手不足への影響が大きいと考えられる 15 歳~64 歳の生産年齢人口についても、平成 17 年から平成 22 年にかけていったん減少したものの、平成 22 年から平成 27 年にかけては、ほぼ横ばいで推移している。

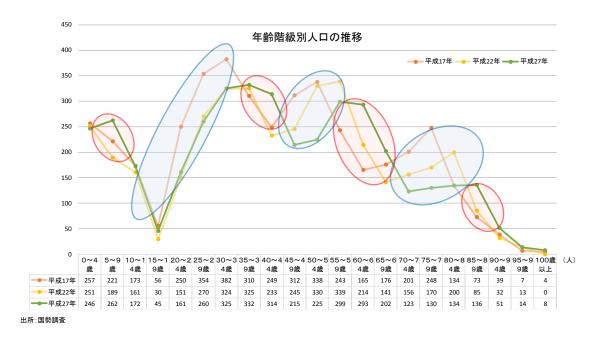
さらに、生産年齢人口の5歳階級別に増減の推移をみていく。生産年齢人口のうち、「15~34歳」

					()
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
	総数	3,551	4,192	3,859	3,998
	15歳未満	599	651	601	680
	15~64歳	2,064	2,659	2,461	2,469
	65歳以上	888	882	797	798
	75歳以上	389	505	500	473
労	'働力人口	2,072	2,585	2,316	2,376
労働力率(%)		70.2	73.0	71.1	72.7

(**L**)

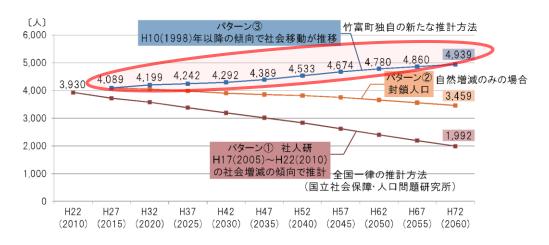
出所:国勢調

人口については、平成17年から、平成22年にかけて減少し、平成27年はほぼ横ばいで推移している。



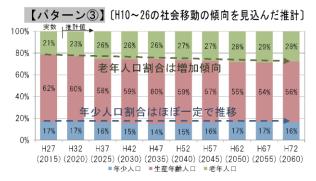
また、竹富町人口ビジョンにおいて公表されている将来推計人口については、社会増減が平成 10 年 以降の傾向で推移するとして推計した結果では、総人口は少しずつ増加していき、2060 年には 4,939 人 になるとしている。

【竹富町における将来推計人口】



また、年齢階層別の生産年齢人口についてみると、 年少人口(0~14歳)はほぼ横ばい、生産年齢人口(15 ~64歳)は微減、老年人口(65歳以上)は微増する と予測され、高齢化率は上昇すると見込まれている。

【竹富町における年齢階層別将来推計人口】



(5) 人口動態 出所: 竹富町人口ビジョン

平成 30 年度の人口増加数は 73 人で、過去 5 年間において 2 番目に多くなっている。平成 26 年以降、人口は増加し続けているが、総人口への影響は、社会増減の変動による影響が大きいことがわかる。

【竹富町における人口動態の推移】

											17.50
	人口增加	自然動態				社会動態					
年度	(A-D)	A 自然増加 (B-C)	B 出生	C 死亡	D 社会増加 (E-H)	E 転入計 (F+G)	F 転入	G 増のその他	H 転出計 (I+J)	I 転出	J 減のその他
平成26年度	102	8	43	35	94	582	576	6	488	480	8
平成27年度	34	10	43	33	24	601	599	2	577	572	5
平成28年度	30	12	60	48	18	560	558	2	542	533	9
平成29年度	1	3	43	40	-2	687	685	2	689	677	12
平成30年度	73	4	51	47	69	672	668	4	603	599	4

令和元年の年齢階級別社会動態をみると、 $15\sim64$ 歳では、 $20\sim24$ 歳と $30\sim34$ 歳以外の年齢階級では、転出者が転入者を上回っているが、 $20\sim34$ 歳の転入者が約 $100\sim130$ 人と、多くなっている。

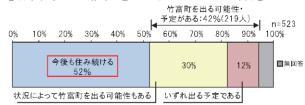
また、竹富町において実施した町民アンケート調査では、竹富町への $U \cdot I$ ターン者のうち、竹富町に「今後も住み続ける」とした者が 52%、「竹富町を出る可能性・予定がある」とした者が 42%となっており、 $U \cdot I$ ターン者の約 4 割は、町外流出の可能性があるとした。

なお、 $U \cdot I$ ターン者が竹富町へ移住してきた理由については、「町や自然の雰囲気」が約4割、「仕事の関係」が約2割となっており、竹富町の自然や環境を理由に移住した者が多い傾向にある。

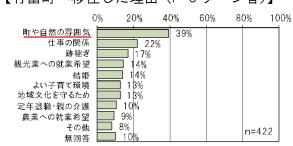
【令和元年 年齡階級別社会動態】



【竹富町での移住意向(Ⅰ・IJターン者)】



【竹富町へ移住した理由(I·Uターン者)】



出所:竹富町人口ビジョン【町民アンケート】

第二章 アンケート調査結果

1. 調査概要

(1)調査の目的

「竹富町新たな労働力確保創出検討事業」の実施にあたり、竹富町内事業者の人手不足の状況や事業に対するニーズ、また、石垣市内の高等学校に通う高校生については、卒業後の希望進路を把握し、事業実施における課題や事業ニーズを把握することを目的として実施した。

(2)調査対象

事業所調査:国税庁「法人番号公表サイト」で公開されている竹富町内の全事業所 200 事業所

高校生調査:石垣市内の高校に通う高校2年生440名

(八重山高等学校:220 名 八重山商工高等学校:130 名 八重山農林高等学校 90 名)

(3)調査方法

事業所調査:郵送調査

高校生調査:高校教員よる生徒への配布・回収

(4)調査期間

事業所調査: 令和元年 12 月 16 日~令和元年 12 月 25 日 ※事業所調査のみハガキによる督促実施

高校生調査: 令和元年 12 月 9 日~令和元年 12 月 25 日

(5)回収状況

	配布数	回収数	回収率	未達
事業所調査	200	28	14%	45
高校生調査	440	397	90.2%	_

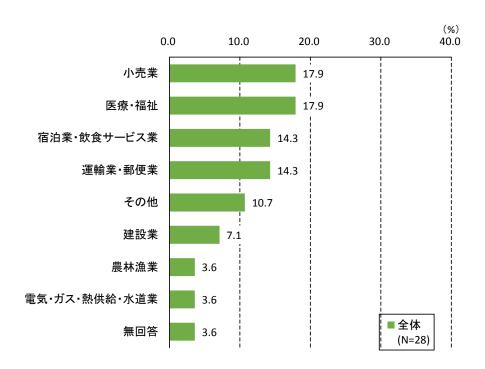
(6)調査結果の見方

調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はNで示している。

回答率(%)については、小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも 100% とはならない場合がある。

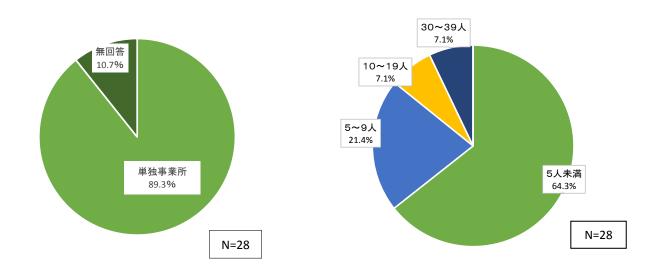
2. 調査結果 (事業所調査)

(1) 業種



(2) 事業所形態

(3) 事業所規模



- ◆竹富町出身が50%以上の事業所・・・39.2%(11/28)
- ◆沖縄県外出身者が 50%以上の事業所・・・42.9% (12/28)

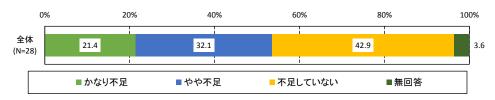
※()内は実数

(4)人材の不足状況

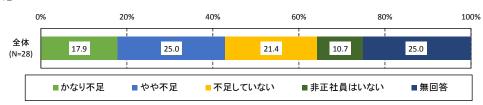
人材の不足状況についてみると、正社員では「不足していない」が 42.9%となっているものの、「かなり不足」と「やや不足」を合わせた、正社員人材が不足している事業所は 53.5%で半数以上となった。

非正社員についてみると、こちらも「かなり不足」と「やや不足」を合わせた、非正社員が不足している事業所が 42.9%と高くなっている。

【正社員】

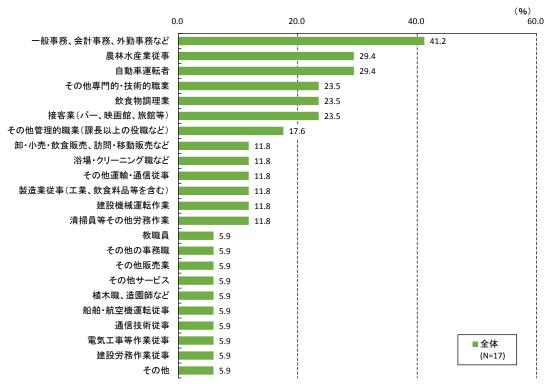


【非正社員】



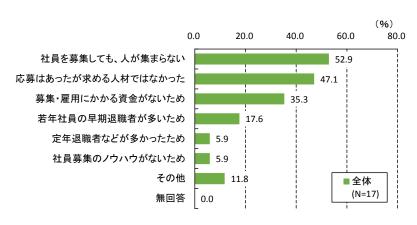
(5)人材の不足が生じている職種・職務

正社員、または非正社員の人材が「かなり不足」または「やや不足」していると回答した事業所に対して、人材不足が生じている職種・職務についてたずねると、「一般事務、会計事務、外勤事務など」が41.2%で最も高く、次いで「農林水産業従事」、「自動車運転者」がそれぞれ29.4%、「その他専門的・技術的職業」、「飲食物調理業」、「接客業(バー、映画館、旅館等)」がそれぞれ23.5%と高くなっている。



(6)人材不足の理由

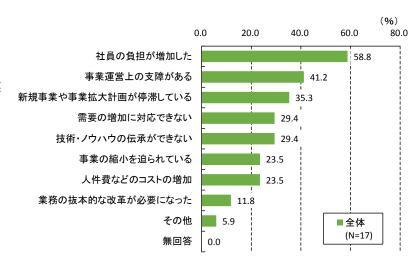
人材が不足している理由についてたずねると、「社員を募集しても、人が集まらない」が52.9%で最も高く、次いで「応募はあったが求める人材ではなかった」が47.1%、「募集・雇用にかかる資金がないため」が35.3%と高く、募集をしても人が集まらない、または、事業所のニーズと人材のマッチングがうまくいかなかったなどの理由が上位を占めた。



(7)人材不足による影響

人材不足による影響についてたず ねると、「社員の負担が増加した」 が58.8%で最も高く、次いで「事業 運営上の支障がある」が41.2%、

「新規事業や事業拡大計画が停滞している」が 35.3%と高くなっている。

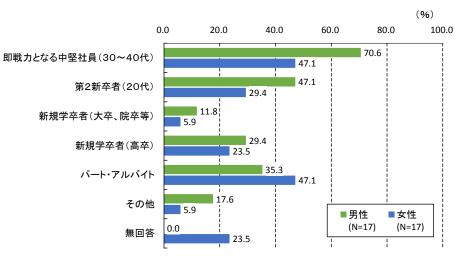


(8)求める人材

求める人材についてたずねると、男性では「即戦力となる中堅社員(30~40代)」が 70.6%で最も高く、次いで「第2新卒(20代)」が 47.1%、「パート・アルバイト」が 35.3%と、新規学

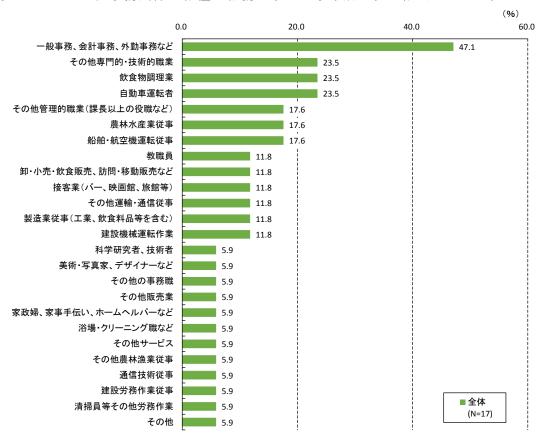
卒者よりも、即戦力で対応で きる人材を求める傾向がみら れた。

女性では、「即戦力となる中堅社員(30~40代)」、「パート・アルバイト」が47.1%でそれぞれ最も高く、次いで「第2新卒者(20代)」が29.4%となった。



(9)求める人材の職種・職務

求める人材の職種・職務については、「一般事務、会計事務、外勤事務など」が 47.1%で最も高く、次いで「その他専門的・技術的職業」、「飲食物調理業」、「自動車運転者」が 29.5%で、それぞれ高くなっており、事務関係の職種・職務を求める事業所が多い傾向となった。



(10) 求める人材に必要なスキル(自由回答)

業種	求める人材の仕事内容	求めるスキル・資格
農林漁業	農作業、トラクターオペレータ	大型特種
農林漁業		素直に支持を聞き、真面目に取り組む 地域の溶け込み、西表島を楽しみ、既存スタッフとより良い関係を築くことができる ※農業のため、特にスキル・資格を重要視しない
農林漁業	牛の世話、飼料運搬	運転免許、農具が使える者
電気・ガス・熱供給・水道業	個々の仕事の能率を上げたい	
宿泊業・飲食サービス業	30代~40代の経験者	
宿泊業・飲食サービス業	・農業(俗にいう援農隊)に興味があり、体力がある方 ・西表が好きな方	
建設業	技術職、大型免許、機械等の技術者	
運輸業·郵便業	大型自動車運転手	大型自動車免許、玉掛け、小型移動式クレーン
運輸業·郵便業	整備士	施工業務、PC扱い
その他サービス業	・心身ともに健康な人、生き物と人が好きな人	・自動四輪免許 ・潜水士 ・できればダイブマスター以上の有資格
その他サービス業	経理担当、レンタカーの受付	
その他	会計・労務・事務、自然環境調査	
その他	車の免許、船舶、シュノーケル、ダイビング等	
その他	①会計事務、一般事務 ②事業の企画、運営、統括	①PCスキル、コミュニケションカ ②企画力、コミュニケーション力、PCスキル
その他	竹富町に関する情報提供、案内業務	特になし

(11) 繁忙期と閑散期の人員数

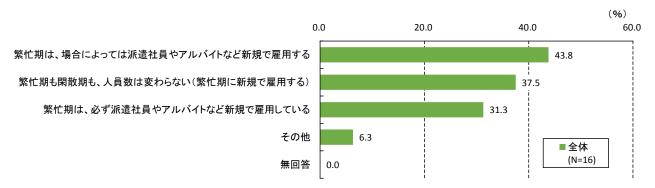
繁忙期と閑散期の必要な人員数については、28事業所中、14事業所において、閑散期よりも繁忙期の人員数が多く必要であるという結果となった。

	繁閑時	期(月)	必要人員数(人)			
業種	繁忙期	閑散期	繁忙期	閑散期	繁忙期と閑 散期の差	
農林漁業	1~10	11~12	3	0	3	
その他		_	_	_	_	
その他	11~3	4∼10	6	2	4	
_	10~4	5 ~ 9	7	3	4	
宿泊業・飲食サービス業	7 ~ 10	1~3	200	180	20	
その他サービス業	6 ~ 9	10~4	12	8	4	
その他	12~3	4~6	5	4	1	
小売業・宿泊業・飲食サービス業・その他サービス業	11~4	5 ~ 10	60	60	0	
宿泊業・飲食サービス業	7 ~ 8	10~5	15	10	5	
その他サービス業	4~10	11~3	2	2	0	
医療•福祉	年中忙しい	_	13	13	0	
宿泊業・飲食サービス業	7 ~ 9	11~3	2	2	0	
農林漁業	3 ~ 10	11~2	10	7	3	
運輸業∙郵便業	12~4	5 ~ 11	2	_	_	
農林漁業·運輸業·郵便 業·小売業	12~4	5 ~ 11	4	2	2	
その他	6 ~ 9	11~12	6	5	1	
宿泊業・飲食サービス業	3~10	12~2	8	_	_	
運輸業·郵便業	11~4	5~10	2	_	_	
その他サービス業	4~10	11~3	1	1	0	
電気・ガス・別供給・水道業	_	_	3	2	1	
建設業	1~12	_	4	0	4	
農林漁業	4~10	11~1	6	4	2	
その他サービス業	5 ~ 10	11~3	3	1	2	
その他	_	_	_	_		
建設業	5 ~ 3	_	2	_	_	
その他サービス業	_	_	_	<u> </u>	_	
運輸業•郵便業	5 ~ 10	11~4	4	4	0	
建設業	11~3	_	_	_	_	

※「一(ハイフン)」は、記入がなかった箇所

(12) 繁忙期と閑散期の人員確保の状況

繁忙期と閑散期の人員確保の状況については、「繁忙期は、場合によっては派遣社員やアルバイトなど新規で雇用する」が 43.8%で最も高く、次いで「繁忙期も閑散期も、人員数は変わらない(繁忙期に新規で雇用する)」が 37.5%、「繁忙期は、必ず派遣社員やアルバイトなど新規で雇用している」が 31.3%で、7 割以上の事業所が、毎回、または場合によって繁忙期に新規雇用を行っている結果となった。



(13) 新たな人材を雇う際の給与額(平均・中央値・最小値・最大値)

新たな人材を雇う際の給与額について、雇用形態別に月収または時給をたずねたところ、下表のとおりとなった。正社員で最も平均額が高いのは「正社員(即戦力となる中堅者)」で 198,250 円となった。

		平均	中央値	最小値	最大値
	正社員(新規学卒者・高校卒業)	158,684	150,000	100,000	200,000
月収	正社員(新規学卒者・大学卒業)	168,235	180,000	130,000	200,000
月収	正社員(第二新卒者)	173,333	180,000	130,000	200,000
	正社員(即戦力となる中堅者)	198,250	200,000	130,000	300,000
時給	パート・アルバイト	927	850	850	1,300

◆業種別にみた新たな人材を雇う際の給与額(平均値・最小値・最大値) 【正社員(新規学卒者・高校卒業)】

業種	サンプル数	平均值	最小値	最大値
農林漁業	3	153,333	100,000	200,000
建設業	1	190,000	190,000	190,000
電気・ガス・熱供給・水道業	1	200,000	200,000	200,000
運輸業·郵便業	2	162,500	145,000	180,000
小売業	1	150,000	150,000	150,000
宿泊業・飲食サービス業	4	155,000	150,000	160,000
医療•福祉	1	140,000	140,000	140,000
その他サービス業	6	155,000	130,000	200,000
その他	1	150,000	150,000	150,000

【正社員 (新規学卒者·大学卒業)】

業種	サンプル数	平均值	最小値	最大値
農林漁業	3	163,333	130,000	200,000
建設業	1	190,000	190,000	190,000
運輸業•郵便業	2	177,500	155,000	200,000
小売業	1	150,000	150,000	150,000
宿泊業・飲食サービス業	3	171,667	150,000	185,000
医療•福祉	1	140,000	140,000	140,000
その他サービス業	5	162,000	130,000	200,000
その他	2	165,000	150,000	180,000

【正社員(第二新卒者)】

業種	サンプル数	平均值	最小値	最大値
農林漁業	3	163,333	130,000	200,000
建設業	1	190,000	190,000	190,000
運輸業·郵便業	2	177,500	155,000	200,000
小売業	1	150,000	150,000	150,000
宿泊業・飲食サービス業	3	171,667	150,000	185,000
医療•福祉	1	140,000	140,000	140,000
その他サービス業	4	175,000	150,000	200,000
その他	2	180,000	180,000	180,000

【正社員(即戦力となる中堅者)】

業種	サンプル数	平均值	最小値	最大値
農林漁業	3	186,667	130,000	250,000
建設業	2	220,000	200,000	240,000
運輸業·郵便業	2	182,500	165,000	200,000
小売業	1	150,000	150,000	150,000
宿泊業・飲食サービス業	3	183,333	150,000	200,000
医療•福祉	1	200,000	200,000	200,000
その他サービス業	5	190,000	150,000	300,000
その他	4	212,500	180,000	250,000

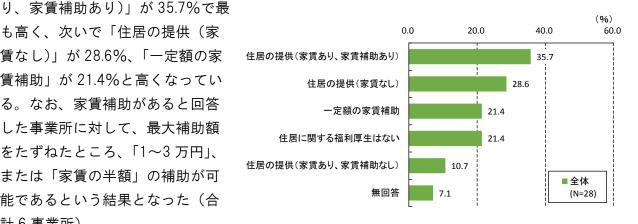
【パート・アルバイト】

業種	サンプル数	平均值	最小値	最大値
農林漁業	3	903	850	960
建設業	2	1,144	1,100	1,188
運輸業·郵便業	2	925	850	1,000
小売業	1	850	850	850
宿泊業・飲食サービス業	5	850	850	850
医療•福祉	1	820	820	820
その他サービス業	5	970	800	1,300
その他	3	900	850	1,000

(14) 住居に関する福利厚生の有無

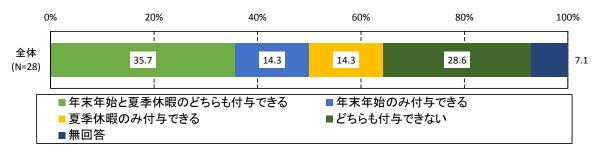
約7割の事業所が住居に関する福利厚生があると回答し、その内訳は「住居の提供(家賃あ

も高く、次いで「住居の提供(家 賃なし)」が 28.6%、「一定額の家 賃補助」が21.4%と高くなってい る。なお、家賃補助があると回答 した事業所に対して、最大補助額 をたずねたところ、「1~3万円」、 または「家賃の半額」の補助が可 能であるという結果となった(合 計6事業所)。



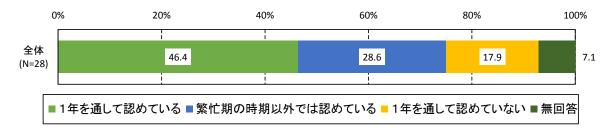
(15) 年末年始または夏季休暇の有無

年末年始または夏季休暇については、「年末年始と夏季休暇のどちらも付与できる」が35.7%、 「年末年始のみ付与できる」、「夏季休暇のみ付与できる」がそれぞれ 14.3%で、約6割の事業所 が、各休暇を付与できるとし、「どちらも付与できない」事業所は28.6%となった。



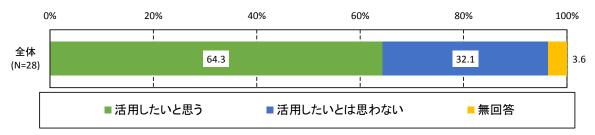
(16) ダブルワークの有無

ダブルワークについては、「1 年を通して認めていない」事業所は 17.9%と 2 割未満にとどまり、「1 年を通して認めている」が 46.4%、「繁忙期の時期以外では認めている」が 28.6%で、7 割以上の事業所が、ダブルワークを認めている結果となった。



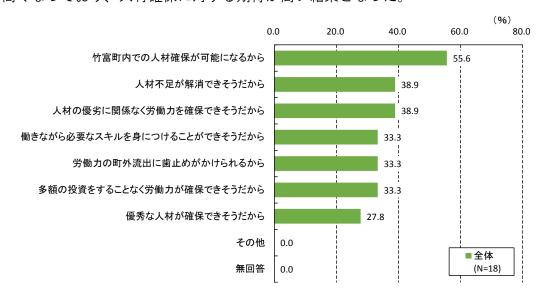
(17) 通信制大学に関する事業への関心

通信制大学に関する事業を「活用したいと思う」事業所が 64.3%、「活用したいと思わない」事業所が 32.1%で、事業に対する関心度は高くなっている。



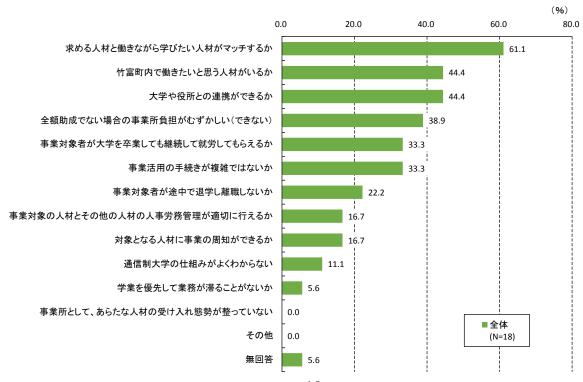
(18) 通信制大学に関する事業を活用したいと思う理由

通信制大学に関する事業を「活用したいと思う」と回答した事業所に対して、その理由をたず ねたところ、「竹富町内での人材確保が可能になるから」が 55.6%で最も高く、次いで「人材不足 が解消できそうだから」、「人材の優劣に関係なく労働力を確保できそうだから」がそれぞれ 38.9%と高くなっており、人材確保に対する期待が高い結果となった。



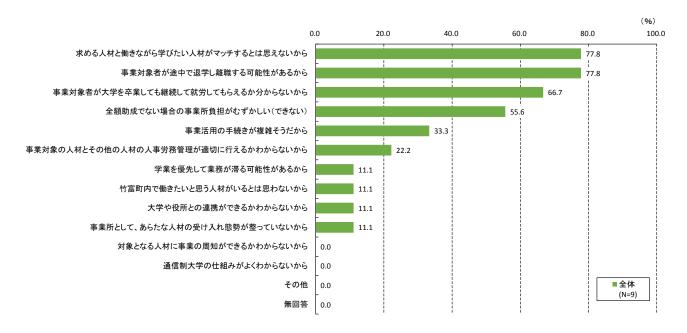
(19) 通信制大学に関する事業を活用するうえでの課題や不安なこと

事業活用に対する課題や不安なことについては、「求める人材と働きながら学びたい人材がマッチするか」が 61.1%で最も高く、次いで「竹富町内で働きたいと思う人材がいるか」、「大学や役所と連携ができるか」がそれぞれ 44.4%、「全額助成でない場合の事業所負担が難しい」が 38.9%と高く、人材のマッチング、確保や事業費負担などを不安視する事業所が多い結果となった。



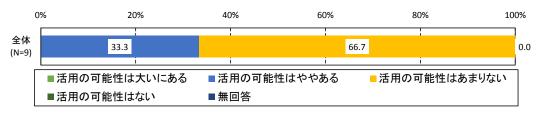
(20) 通信制大学に関する事業を活用したいと思わない理由

通信制大学に関する事業を「活用したいと思わない」と回答した事業所に、その理由をたずねたところ、「求める人材と働きながら学びたい人材がマッチするとは思えないから」、「事業対象者が途中で退学し離職する可能性があるから」が、それぞれ77.8%で最も高く、次いで「事業対象者が大学を卒業しても継続して就労してもらえるかわからないから」が66.7%、「全額助成でない場合の事業所負担がむずかしい(できない)」が55.6%と高く、事業の活用意向がある事業所が事業活用にあたって不安視している内容と比較的同様傾向を示した。



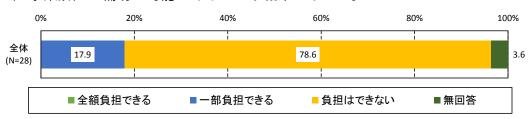
(21) 通信制大学に関する事業を活用の可能性について

活用したいと思わない理由が解消された場合の、事業活用の可能性についてたずねると、「活用の可能性はややある」が33.3%、「活用の可能性はあまりない」が66.7%となった。



(22) 通信制大学に関する事業活用における学費負担の可否

通信制大学に関する事業を活用した場合の学費負担について、「一部負担できる」が 17.9%となり、「負担はできない」とする事業所が 78.6%と、ほとんどの事業所で負担ができないという結果となった。なお、学費を「一部負担できる」とする事業所では、「月 3 万円」と「年間 12 万円」(2 事業所)の補助が可能であるという結果となった。



(23) 竹富町内で人材を確保するうえでの課題(自由回答)

竹富町内で人材を確保するうえでの課題について自由回答で意見を聞いたところ、回答のあった 12 事業所中 7 事業所において「住居の確保」、「宿泊所の確保」など、新たな従業員を受け入れるうえで、従業員の住居や宿泊所の不足を解消する必要があるとの意見が多くうかがえた。

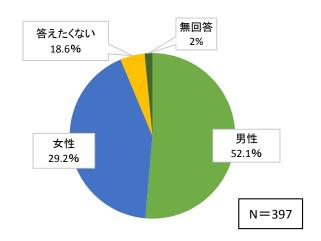
業種	通信制大学 の活用意向	竹富町内で人材確保するうえでの課題
農林漁業	活用したい	まずは、受け入れ態勢が整っていない。働きたい人材はあるが、宿泊施設がないため、受け入れできずにいることがある。結局、既存スタッフの負担になり、早期退職の原因になっている。
農林漁業	活用したい	宿泊所の確保
宿泊業・ 飲食サービス業	活用したい	観光による入島数は増えてきているが、これだけの人が一気に休んで遊んだら、そりゃ人でも不足になるわな。と感じているので、私たちだけ(町)の問題ではなく、これはもう日本全体の問題なのでは?と思う。
運輸業·郵便業	活用したい	1.住居確保が困難 2.保証人 3.行政の窓口相談がない、経済的支援 4.生活環境の不便 5.長期就労者が少ない 6.遊び半分の人も多い
運輸業·郵便業	活用したい	住まいの確保・地域の方や行事等の理解
医療•福祉	活用したい	島で働きたいという意欲はあっても、島の生活になじめるかどうかが業務があうかどうかよりも大きな課題になていると思う。これまでの経験より、県外などから初めて沖縄に、八重山に来たという方は、生活環境が想像以上に大変だった等で定着できなかった方がほとんどでした。住居の確保・提供はもちろん、島での生活に慣れるためのお試し期間が必要だと思います。
その他サービス業	活用したい	住宅不足なので、町営団地の入居条件の見直しや増設
その他	活用したいと思わない	離島から成り立つ竹富町では、学校を卒業したら、社会勉強の意味を含めて一度は外の世界を経験させるという思いがある。しかし、内地等で社会人として生活基盤を整えたものに対して、その生活基準を保てる保証のできる地元企業は少なく、望郷の思いだけではUターンは難しい。
その他	活用したいと 思わない	格安にての団地等が建つと、就業者が増え、家族等でも移り住むことが可能かと
その他	活用したいと 思わない	・住居の確保。自社で家、アパート等を所有していない場合、住居の確保が難しい。また、平均賃金に対して家賃が高い。 ・保育所が二歳児からの受入であったり、小中学校後の学童や病児保育がないため、女性の人材確保が難しい(経験やスキルのある人材がいても活かせていない)
その他	活用したい	通信制制度は素晴らしい取り組みだと思う。また、町内出身者の町外流出は町にとっても大変残 念なことなので、是非推進してほしいと思う。行政が取り組む課題としては、法に基づいた新たな 産業を創出するアイディアをつぶさないよにして欲しい。また、竹富町は各島がユニークな視点を 持つ人材が多数いる。このアイディアも守り、育ててもらいたい。
不明	活用したいと 思わない	給料に対しての動ける人材育成

3. 調査結果(高校生調査)

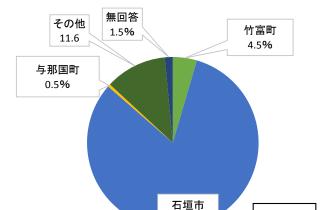
(1)回答校

八重山農林高校 18.6% 八重山商工高校 29.2%

(2) 性別

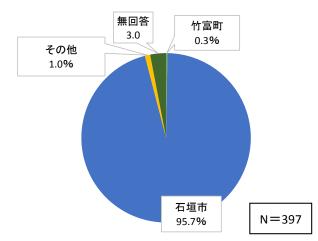


(3)出身地

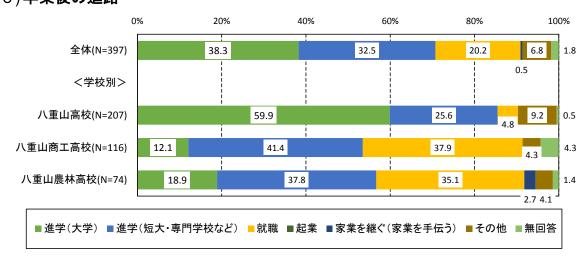


81.9%

(4)居住地



(5)卒業後の進路

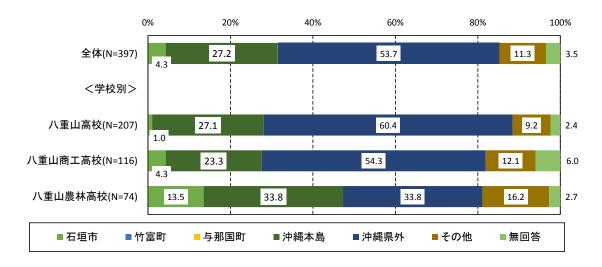


N = 397

(6)希望進路地域

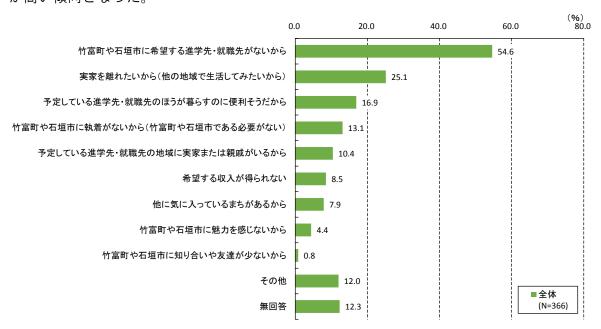
希望進路地域についてたずねると、「沖縄県外」が 53.7%で最も高く、半数以上の生徒が県外への進路を希望する結果となった。そのほか「沖縄本島」が 27.2%と高くなっており、約8割の生徒は、県外または本島への進路を希望している。

学校別にみると、八重山高校、八重山商工高校では、「沖縄県外」を希望する生徒が約5割~6割と高い。一方、八重山農林高校については、「石垣市」が13.5%、「沖縄本島」33.8%となっており、「沖縄県外」を希望する生徒は、約3割にとどまった。



(7)八重山地域以外で進学・就職したい理由

八重山地域以外で進学・就職したい理由については、「竹富町や石垣市に希望する進学先・就職 先がないから」が54.6%で最も高く、次いで「実家を離れたいから(他の地域で生活してみたい から)」が25.1%、「予定している進学先・就職先のほうが暮らすのに便利そうだから」が16.9% となっており、八重山地域に自身が希望する学校または企業がないことを理由とする生徒の割合 が高い傾向となった。



【性別・卒業後の進路別・通信制大学への関心の有無別】

性別にみると、女性では「竹富町や石垣市に希望する進学先がないから」、「実家を離れたいから (他の地域で生活してみたいから)」の割合が男性よりも高くなっている。

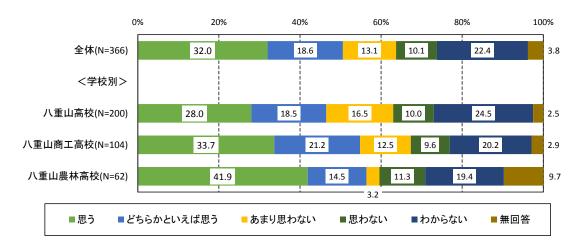
卒業後の進路別にみると、大学または短大・専門学校などに進学を希望する生徒については、 就職を希望する生徒と比較して「竹富町や石垣市に希望する進学先・就職先がないから」の割合 が高い傾向となった。一方、就職を希望する生徒については、進学を希望する生徒と比較して 「実家を離れたいから(他の地域で生活してみたいから)」の割合が高い傾向となった。

	上段:実数、下段:%	サンプル数	からる進学先・就職先がない竹富町や石垣市に希望す	い希望する収入が得られな	便利そうだから 職先のほうが暮らすのに予定している進学先・就	感じないから 竹富町や石垣市に魅力を	市である必要がない)ないから(竹富町や石垣市に執着が	親戚がいるから 職先の地域に実家または 予定している進学先・就	いや友達が少ないから竹富町や石垣市に知り合	があるから他に気に入っているまち	から) の地域で生活してみたい 実家を離れたいから(他	その他	無回答
	男性	187 <i>100.0</i>	92 <i>49.2</i>	17 <i>9.1</i>	28 <i>15.0</i>	10 <i>5.3</i>	29 <i>15.5</i>	16 <i>8.6</i>	2 1.1	13 <i>7.0</i>	40 <i>21.4</i>	23 <i>12.3</i>	28 <i>15.0</i>
性 別	女性	161 <i>100.0</i>	99 <i>61.5</i>	12 <i>7.5</i>	29 <i>18.0</i>	4 <i>2.5</i>	16 <i>9.9</i>	21 <i>13.0</i>	0 <i>0.0</i>	15 <i>9.3</i>	49 <i>30.4</i>	17 <i>10.6</i>	16 <i>9.9</i>
	答えたくない	18 <i>100.0</i>	9 <i>50.0</i>	2 11.1	5 <i>27.8</i>	2 11.1	3 <i>16.7</i>	1 <i>5.6</i>	1 <i>5.6</i>	1 <i>5.6</i>	3 16.7	4 22.2	1 <i>5.6</i>
	進学(大学)	150 <i>100.0</i>	100 <i>66.7</i>	10 <i>6.7</i>	19 <i>12.7</i>	7 <i>4.7</i>	20 <i>13.3</i>	19 <i>12.7</i>	0 <i>0.0</i>	5 <i>3.3</i>	28 <i>18.7</i>	14 <i>9.3</i>	14 <i>9.3</i>
卒	進学(短大・専門学校 など)	126 <i>100.0</i>	75 <i>59.5</i>	10 <i>7.9</i>	26 <i>20.6</i>	7 5.6	18 <i>14.3</i>	13 <i>10.3</i>	1 <i>0.8</i>	11 <i>8.7</i>	31 <i>24.6</i>	13 <i>10.3</i>	17 <i>13.5</i>
業後	就職	64 100.0	16 <i>25.0</i>	7 10.9	14 21.9	1 1.6	5 7.8	4 6.3	1 1.6	9	27 <i>42.2</i>	11 17.2	8 12.5
の進	起業	0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0 0.0	0,0	0.0	0	0.0	0.0
路	家業を継ぐ(家業を手伝う)	1 100.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1 100.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0 0.0
	その他	24 100.0	9 <i>37.5</i>	4 16.7	3 12.5	1 4.2	5 20.8	1 4.2	1 4.2	4 16.7	6 25.0	6 <i>25.0</i>	5 20.8
学通、へ信	興味がある	120 100.0	73 <i>60.8</i>	10.7 10 <i>8.3</i>	21 17.5	3 2.5	18 <i>15.0</i>	13 10.8	2 1.7	8 <i>6.7</i>	37 30.8	14 11.7	11 <i>9.2</i>
心の制関大	興味はない	238 100.0	125 <i>52.5</i>	20 8.4	41 17.2	13 5.5	29 12.2	25 10.5	1 0.4	20 <i>8.4</i>	50.8 52 21.8	30 12.6	30 12.6
	八重山高校	200 100.0	124 <i>62.0</i>	15 7.5	24 12.0	7 3.5	28 14.0	27 13.5	0.4 1 0.5	9 4.5	40 20.0	23 11.5	20 10.0
学 校	八重山商工高校	100.0 104 100.0	52.0 52 <i>50.0</i>	7.5 14 13.5	25 24.0	8 7.7	15 14.4	8 7.7	0.5 2 1.9	15 14.4	37 35.6	11.5 12 11.5	13 12.5
別	八重山農林高校	62 100.0	30.0 24 38.7	73.5 2 3.2	13 21.0	1.6	5 8.1	3 4.8	0.0	5 8.1	35.6 15 24.2	9 14.5	12.3 12 19.4

(8)八重山地域への U ターン意向

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた、八重山地域へ U ターンしたと思う生徒は50.6%で、約半数の生徒に U ターン意向があるという結果となった。

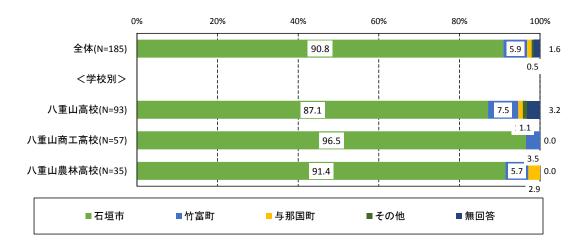
学校別にみると、八重山農林高校では、「思う」が41.9%と、他の高校と比較して高い。一方、八重山高校、八重山商工高校では、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合がそれぞれ2割以上で、八重山農林高校と比較して高くなっている。



(9) Uターンしたいと思う地域

八重山地域へ U ターンしたいと「思う」または「どちらかといえば思う」と回答した生徒に、U ターンしたいと思う地域についてたずねたところ、「石垣市」が 90.8%で、ほとんどの生徒が石垣市への U ターンを希望する結果となった。

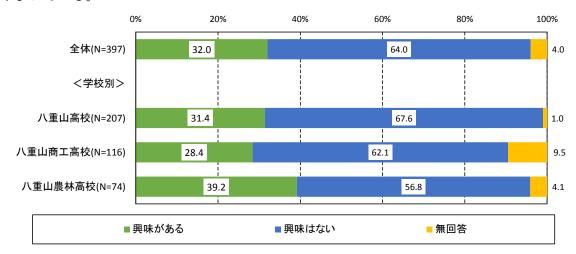
高校別にみても、全体と同様の傾向を示した。



(10) 通信制大学に対する関心の有無

通信制大学に関する制度に「興味がある」生徒が32.0%、「興味はない」生徒が64.0%となった。

高校別にみると、八重山農林高校では、「興味がある」生徒が約4割と、他の高校と比較して高くなっている。



第三章 ヒアリング調査

1. 調査概要

① 調査対象

事業所アンケート調査の回答があった事業所から、6事業所を抽出

② 調査方法

対面ヒアリング調査

③ 調査実施期間

令和2年3月9日~令和2年3月11日

2. 調査結果

①事業所 A

①事業所 A	
所在地	竹富島
業種	観光情報発信・案内業務,特産品開発・販売
求める人材	島をよく知っていて観光案内ができる人材
人材確保の状況	即戦力となる人材を求めているがいない。
人材募集の方法	WEB 等
人材確保が難しい理由	・長く島にとどまらず、直ぐに他所に流れる人が多い。
	・宿舎がない。
	・スキルがない人材を一から育てる余裕がない。
通信制大学通学について	・インターネットでの教育は知識だけで、人間性教育は出来ない。
その他自由意見	・竹富島は公民館がしっかりしており、公民館を中心に何事も動いてい
	る。
	・若者が島に定着しないのは面白い仕事がないから。何をやりたいのかを
	役場はもっと聞き出して施策を立てるべき。
	・役場はマンパワー不足で、これでは地域や事業所への支援は難しい。
	・人口減少は仕方がないことで、減少することを前提に地域活動、事業活
	動することが重要。
	・学費を支援するのではなく、自立を支援するべき。
	・大きな発展を求めるのではなく、自分でできる範囲で身の丈に合った発
	展を考えるべき。
	・「観光」を単なるサービス業ととらえてはいけない。特産品開発などや
	るべきことはある。
	・各島にはアイディアを持った素晴らしい人材がいる。その人材とアイデ
	ィアを役場は守り育ててほしい。

第三章 ヒアリング調査結果

②事業所 B

所在地	竹富島
業種	「地域自然資産法」に基づく島の環境保全活動
求める人材	自然環境調査スタッフ
人材確保の状況	やや不足
	(現在理事 10 名、事務局職員1名、それに地域おこし協力隊2名)
人材募集の方法	募集活動はしていない
人材確保が難しい理由	・募集、雇用にかかる資金がないため
	・U ターン者を求めているが、島の自然環境保全に携わりたいという者
	はいない。
通信制大学通学について	当財団では関心がない
自由意見	・島の若者の多くは外の社会に出ていく。県外等で生活基盤を整えた者に
	対して、その生活基準を保証できる企業は少なく、望郷の思いだけでは U
	ターンは難しい。
	・令和元年 9 月から町の条例に基づいて「入島料」を徴収しているが、
	支払いが義務ではないので徴収率は現在 14%である。(協力金を支払う
	「文化」が日本にはないと感じる。)

③事業所 C

③事業所 U	
所在地	西表島
業種	ダイビング業、ホテル業
求める人材	インストラクター有資格者
人材確保の状況	やや不足
人材募集の方法	ダイビング専門誌。(ホテルは求人 WEB サイト。)
人材確保が難しい理由	ダイビング人口の減少に伴い、インストラクターも増えていない。
通信制大学通学について	大学には関心がない。(ダイビング課程を有する専門学校からは実習生を
	受け入れている。)
その他自由意見	・新規ダイビング客が減少しているが、4割ほどリピーター客がいるので
	大事にしたい。
	・マンタは八重山ダイビングにとって"永遠のアイドル"だ。
	・かつてはダイビング課程を有する専門学校が全国にあったが、近年は減
	少し、代わりにペットや介護などが専門学校のトレンドになっている。
	・ダイビング業は許可制ではなく届け出制なので、事務所も船も持たない
	フリーの事業者が増えて、それが事故の増加につながっている。
	・現在は新型コロナウイルスの影響で利用者が少ないので当分は新規雇
	用はない。

④事業所 D

所在地	西表島
業種	果樹農業(マンゴー、パイン)、農産品加工販売業
求める人材	農業従事者、加工所勤務者(パート、アルバイト)
人材確保の状況	かなり不足
人材募集の方法	第1次産業に特化した人材募集 WEB サイトを使っているが、マッチン
	グが難しい (ミスマッチ多い)。
人材確保が難しい理由	・宿泊所の確保が難しい
	・採用しても夏の畑での作業における暑さに対応できず辞めてしまう。
通信制大学通学について	学費補助は難しいが、働き手としては期待する。
その他自由意見	・自社の農場での生産だけでなく、周辺農家からも生果を仕入れて県外向
	けに販売している。生果として出荷できない不良品を加工して土産品と
	して販売している。
	・島の若者は農業より観光関連業に流れてしまう。
	・雇用においては宿泊施設があることが絶対条件。
	・新規雇用できないことが、既存スタッフの過重負担となり早期退職の要
	因となっている。
	・世界自然遺産に登録されれば、県外の若者が西表島に注目してくれるの
	ではと期待している。

⑤事業所 E

(5) 事業所 E	
所在地	西表島
業種	ホテル業
求める人材	清掃、調理、接客スタッフ (パート)
人材確保の状況	かなり不足。
	地域住民をパートとして雇用しているが、祭りや冠婚葬祭等地域行事と重
	なると全員が休むので大いに困っている。
人材募集の方法	八重山の情報誌での募集広告掲載
人材確保が難しい理由	宿泊サービス業はつらいことが多いので定着しない。
通信制大学通学について	定着して働いてもらえるなら、宿泊施設の提供と学費の一部負担は可能。
その他自由意見	・以前は県外派遣会社からヘルパーが来ていたが、国内の人材不足の影響で
	最近は来なくなった。時給が県外と比較して低いことも影響している。
	・10名程度の宿舎はある。
	・世界自然遺産に登録されれば、観光客も働き手も来るのではと期待してい
	る。
	・食材はほぼすべて石垣島から購入している。地元では野菜を栽培していな
	٧٠°
	・宿泊業は苦労の割には収益がないので、自分の代で終わりにするつもり。

⑥事業所 F

所在地	西表島
業種	環境保全、環境教育、文化継承、エコツーリズム
求める人材	即戦力となる人材 (事業の企画・運営及び会計事務)
人材確保の状況	やや不足
人材募集の方法	自社ホームページにて
人材確保が難しい理由	住居の確保が難しい。
通信制大学通学について	関心がない
その他自由意見	・事業活動は町や環境省と連携して取組んでいる。
	・雇用確保には住居の確保が絶対条件。
	・住居が見つかっても賃金に比べ家賃が高い。
	・保育所の受入れが2歳児からであったりするので、女性の採用が難しい。

第四章 竹富町における労働力不足解消に向けた取組の検討

1. 竹富町における人材不足の要因と人員確保における課題

平成 26 年以降、有効求人倍率が 1 倍以上で推移し、令和元年には 1.66 倍と、人材不足の状況 が続いている。

統計データからは、平成 25 年の観光客の急増による観光関連産業(飲食業、宿泊サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など)の求人増加が人手不足の要因の一つとしてよみとることができた。観光関連産業においては、近年の入込観光客数は緩やかな減少傾向にあるものの、現在も100 万人台で推移していること、また、今後西表島が世界自然遺産に登録されることで、更なる観光客の増加が見込まれることから、引き続き観光関連産業での人手不足が続くと考えられる。

アンケート調査においては、正社員が不足しているとした事業所が約5割、非正社員が不足しているとした事業所が約4割となった。人材不足の理由としては、「募集をしても人が集まらない」や「応募はあるが求める人材ではなかった」など、採用活動を行っているにも関わらず、人材を確保できていないとする事業所が多くみられたほか、「応募・雇用にかかる資金がないため」といった、企業体力の低さが原因で新たな人材を採用できないことを理由とする事業所もみられた。

事業所ヒアリング調査においても、ほぼすべての事業所で、人手が「やや不足」または「かなり不足」しているとの意見があり、人材確保が難しい理由としては「募集・雇用にかかる資金がない」、「スキルがない人材を一から育てる余裕がない」、「業務内容や環境が厳しい等の理由で定着しない」などの声が聞かれた。さらに、事業所ヒアリングの中で各事業所において、募集案内の方法がWEBサイトや情報誌等など、多種多様にわたっていることが明らかとなった。求職者が募集情報を検索する際に、どこから情報を取得すればよいか混乱する可能性が考えられるため、事業所情報や募集案内の一元化を図ることで、竹富町での就業希望者に、有益な情報提供が可能になると考えられる。

また、事業所アンケート調査・ヒアリング調査の双方で課題として多く上がったのが、「住居・宿泊所の確保」についての意見である。人材確保が難しい理由や、人材確保における課題について、住居・宿泊所が不足しているとの声が多く聞かれ、竹富町内における人材確保において、住居・宿泊所の整備は必要不可欠といえる。

各事業所が求める人材については、高校や大学を卒業した新規学卒者ではなく、30~40 代の即 戦力となる人材を求める傾向がみられた。

高校生アンケート調査における今後の希望進路については、約8割の生徒が「沖縄本島」 (27.2%) または「沖縄県外」(53.7%) への進路を希望していることから、八重山地域における 高校卒業後の新規学卒者の採用は、現状では難しいと考えられる。なお、高校生が八重山地域以外での進路を希望する理由は、約50%の生徒が「竹富町や石垣市に希望する進学先・就職先がないから」とし、そのほか「実家を離れたいから」といった、島外での生活を経験してみたいとする生徒も約2割となっている。

このように、八重山地域での高校卒業後の人材については、多くの生徒が島外へ流出することが予測されるが、竹富町においては、転入者のうち 20~34 歳の比較的若い層が約 5 割を占めていることから、1・U ターン者の受入拡大による人員確保が効果的であることが考えられる。

以上のことから、竹富町における人手不足の要因及び課題について、以下のように整理した。

【竹富町における人手不足の要因と課題】

西表島の世界自然遺産登録による観 観光客の増加に 外部要因 伴う求人の増加 光客の更なる増加【今後】 住居・宿泊所の 採用・雇用にか 求人と求職のミ 不足 かる資金不足 スマッチ 内部要因 若年者(15~ 人材の早期離職 採用情報の散乱 19歳)の島外

2. 竹富町の人材不足解消に必要な取組の検討

① 竹富町の人材不足解消に有効なターゲット

今回実施した各種調査結果や各種統計データから、竹富町での人材不足解消に向け必要な取組 について検討する。

まず、人材確保のための募集ターゲットについては、以下の4つの理由からU・Iターン者とすることが妥当であると考えられる。

【人材確保における募集ターゲット設定の理由】

①転入者のうち、20~34歳の転入者割合が高いこと
②竹富町内事業所では30~40代の即戦力となる人材を求めていること
③石垣市内の高校に通う生徒のうち、約8割は県外または沖縄本土への進路を希望しているこ
③県外または沖縄本土への進路を希望するもののうち、約5割がリターン意向があること

石垣市の高校に通う生徒については、前述のとおり約8割が島外への進路を希望していることから、高校卒業後の新規学卒者を労働力として島内にとどめることは非常に困難であることが想定される。

竹富町の特徴として、転入者の多くが 20~34 歳となっており、転入の際には新たな就職先が必要になる可能性が高いことから、転入者の増加が労働力の確保につながることが考えられる。また、竹富町内の事業所については、新卒者を一から育成するだけの余裕がないとする企業がみられることや、多くの事業所が 30~40 代の即戦力となる人材を求めていることからも、外部からある程度の経験を有した人材を取り込むことで、企業ニーズにマッチした人材の確保が可能になると考えられる。

さらに、県外や沖縄本島への進路を希望する高校生のうち、約5割の生徒が、いずれは八重山 地域に戻ってきたいとしていることから、Uターン希望者の受入体制の整備も必要である。

このように、U・Iターン者の受け入れ態勢を整備し、受け入れの促進を行うことで、竹富町への移住者を新たな労働力として確保することが期待できる。

② 人材不足の解消に向け必要な取組

▶ 住居・宿泊所の確保と情報提供(新たな人材を受け入れる環境の整備)

新たな人材を受け入れるにあたり、住居または宿泊所の確保が必須の課題といえる。事業所において、新たな人材を雇い入れるうえでの課題について、住居の確保を課題としてあげる事業所が多く、住居がなければ新たな人材の受入は不可能であるため、住居または宿泊所などの確保は、新たな人材を受け入れるうえで、対応は必須である。

また、住居、宿泊所を確保するだけではなく、それらの情報を事業所または移住者等へ提供することが重要といえる。現在、竹富町内の賃貸物件等に関する空き状況や賃料といった情報について、インターネット上で検索することはできないため、居住可能な物件情報を把握し、移住者等へ提供可能なかたちに整備することが必要である。

▶ 採用情報に関連する情報の一元化

アンケート調査では、人手不足の原因として「募集をしても人が集まらない」や「応募はあったが求める人材ではなかった」など、採用活動を行ったにも関わらず、人材の確保につながっていない事業所が多くみられた。原因としては、求職者に募集情報が行き届いてないことや、企業が求める人材と求職者とのミスマッチが生じていることが考えられる。さらに、事業所ヒアリング調査の中で、採用情報の掲載方法がインターネット上や情報誌など、事業所によって散乱していることが明らかになった。

竹富町への移住希望者または求職者に対して、竹富町での求人情報を漏れなく確認してもらうこと、また、求人内容の詳細を掲載することで、企業側の募集内容とのミスマッチを解消するため、竹富町内事業所の採用情報の一元化を図る必要がある。また、採用情報に限らず、前述の住居に関する情報や移住に関する支援情報なども同時に掲載することで、移住予定者に対して効果的な情報提供を行うことが可能になる。情報の掲載にあたっては、竹富町や商工会などのホームページを活用することで、より多くの移住希望者や求職者への情報提供が可能になると考えられる。

▶ U·Iターン者の受け入れに向けた他地域との差別化

竹富町において、U・Iターン者の受入を促進するにあたっては、生活における利便性や就労条件、居住地など生活環境全般において、他地域と比較すると不利な条件が多い。厳しい条件下で、U・Iターン者の受け入れ数を増加させるためには、移住に関する支援の充実、さらに、竹富町に移住することで得られるインセンティブを付与することで、竹富町への移住者増加を図ることが重要である。

3. 通信制大学に関する事業の実現可能性について

(1)通信制大学に関する事業実現に向けた課題

移住者に対するインセンティブ付与の観点から、通信制大学に関する制度の実現可能性について検討する。

通信制大学の最大のメリットは、就労しながら学習することができ、通常の大学に通うよりも 比較的安価で、大学卒業資格を取得できるところにある。事業実現が可能であれば、竹富町への 移住希望者にとって、インセンティブとなることが期待できるため、事業実現に向け調査結果よ り課題等を整理する。

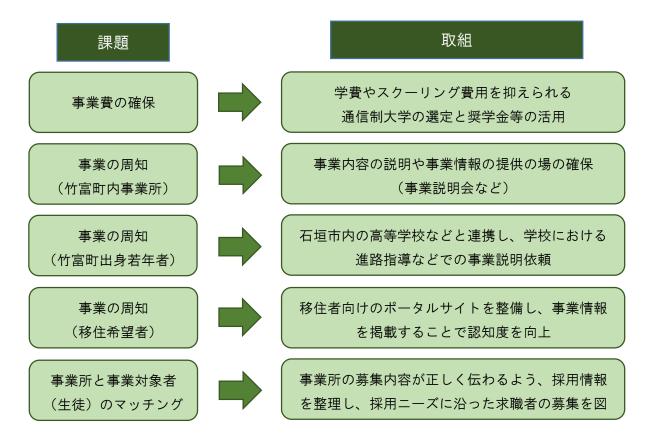
まず、事業所調査結果から、当事業に対する関心については、約6割の事業所が「興味がある」と回答し、事業を活用したいと思う理由については、「竹富町内での人材確保が可能になるから」、「人材不足が解消できそうだから」、「人材の優劣に関係なく、労働力を確保できそうだから」など、人材不足の解消に対する期待の高さから、事業活用に関心を示していることがわかる。しかしながら、事業活用の際の学費負担については約8割の事業所が「負担はできない」としていることから、事業費の確保が課題といえる。また、事業活用にあたって、現段階で想定される不安点や課題については、「求める人材と働きながら学びたい人材がマッチするか」や「竹富町内で働きたい人材がいるか」など、事業対象者の確保や事業所が求める人材とのマッチングを不安視する声が多くなっていることから、事業所と事業対象者のマッチングも課題として考えられる。また、事業所に対しては、当事業の仕組みなど詳細な情報提供が必要になることが想定されるため、事業の実施説明会等、事業の周知と合わせて実施することで、事業に関心を持ってもらえる機会の創出が可能になると考えられる。

高校生に対するアンケート調査結果では、約8割の生徒が県外または沖縄本島への進路を希望しており、島外を希望する主な理由が「竹富町や石垣市に希望する進学先・就職先がないから」や「実家を離れたいから」とする生徒が多いことから、通信制大学に関する事業が島内生徒にとってインセンティブとならない可能性が考えられる。しかしながら、通信制大学に関する事業について、関心がある生徒が3割程度存在しており、事業に関する情報提供を行うことで、潜在的なニーズを掘り起こすことができる可能性がある。

一方で、竹富町では人口増減の要因として転入出による社会増減数が大きな影響を与えているという特徴から、転入者向けに事業の情報提供を行うことで、事業対象者の確保に大きく寄与することが考えられる。そのため、前述した採用情報の一元化に取り組むと同時に、転入者にとってインセンティブとなりうる情報の整理・提供も必要である。

以上のことから、通信制大学に関する事業の実現に向け、以下の課題解決に向けた取組が必要であると考えられる。

【通信制大学に関する事業の事業化に向けた課題と取組】



(2)通信制大学に関する事業の事業化に向けた課題解決の取組

① 事業費の確保

前述のとおり、町内事業者に対して、通信制大学に関する事業において、学費の負担ができるかについてたずねたところ、ほとんどの事業所で「負担はできない」との回答があり、事業費の確保が課題のひとつといえる。しかしながら、「一部であれば負担できる」と回答した事業所や、ヒアリング調査の中でも、一部であれば負担可能とする事業所もみられたことから、竹富町と事業所で連携し、一部ずつ事業費を負担しあうことで、費用の確保が可能になると考えられる。

また、費用に関する課題として、万が一、事業対象となった生徒が、通信制大学を中退、または離職をした際の、費用の補償について検討する必要がある。例えば、「〇年以内の中退または離職の場合、事業にかかる費用の〇%を負担しなければならない」や「〇年以内に中退し、就業はやめない場合は、費用の〇%を負担しなければならない」など、制度活用における条件の設定について、検討が必要といえる。また、事業活用後の離職・退学を防ぐため、事業開始前の一定の期間については、竹富町内での生活・業務を体験する期間を設けることで、最終的な事業活用の判断を対象者と決めるなどの対応をとることで、事業途中でのリタイアの可能性を小さくするなどの対策も必要と考えられる。

② 事業の周知に向けた取組

> 町内事業所

まず、町内事業所については、事業内容を把握してもらい、事業活用の意向について把握する必要がある。そのため、事業趣旨、事業内容を周知してもらう場を確保し、事業を活用したいという事業所を選定することが重要となるため、町内事業者に対する事業内容の説明の場、もしくは、興味を示した事業所に対して、より深い部分の意見収集を行うなど、事業所とのコンタクトをとることで、連携の可能性を探ることが必要と考えられる。

➢ 石垣市内の高校に通う生徒及び学校教員

今回実施したアンケート調査より、石垣市内の高校に通う生徒については、約3割の生徒が当事業について関心があるとの回答があった。そのため、石垣市内の高校と連携し、生徒に対して進路指導などにおいて、事業内容の周知・活用促進を図ることが効果的であると考えられる。まずは事業内容について石垣市内の高校へ周知を行い、生徒に対する事業紹介などの面で連携の可否について探ることが必要と考えられる。

今回の高校生に対する調査を実施した際に、高校教員に事業内容について意見を伺ったところ、教員としても卒業後の進路については八重山地域を離れる生徒が多くいるとの認識で、進学意向のある生徒が増えているとのことであった。また、八重山地域以外への進学については、保護者の負担も更に大きくなることから、通信制大学に通いながら地元に残りたいという生徒が増えることは八重山地域や保護者の双方にとっても歓迎すべきことであるとの意見もあるため、事業の連携について、さらに深堀をしていく必要がある。

課題としては、沖縄県外及び沖縄本島への進路を希望する生徒が多く、理由としては約5割の生徒が「希望する進学先、または就職先がないから」と回答しているため、生徒が働きたいと思える事業所の紹介、または学びたい内容と合致した通信制大学の紹介など、就職先や進学可能な通信制大学の情報提供が重要になると考えられる。

▶ 通信制大学

通信制大学に対しては、通信制大学の入学案内などの際に、当事業の情報掲載などによる連携が考えられる。具体的には、当事業活用の際の入学条件の設定や授業料など、通常の生徒と異なる条件について、入学希望者への情報提供(入学案内などでの紹介等)や、大学としての事業活用による入学条件の設定が可能であるかなど、通信制大学関係者との意見交換が必要である。

③ 事業所及び事業対象者のマッチング

事業所の求める人材を確保するため、事業所のニーズを把握し、事業対象者へ情報提供することが重要である。そのため、整備を検討しているポータルサイトの中で、詳細な求人内容や就労条件などを掲載し、事業対象者についても、就労後のギャップが発生しないようにすることが重要である。また、事業活用後の両者のギャップを防ぐために、一定の試用期間(体験期間)を設けた後に最終判断を行うことで、より離職のリスクを低減できると考えられるため、試用期間の設定や試用期間中の費用面の対応なども含め、事業所との検討が必要である。

第五章 通信制大学に関する基本情報の整理

1. 通信制大学の基本情報

通信制大学に関する事業の事業化検討にあたり、全国の通信制大学のうち、関東地方の通信制 大学についての基本情報と、卒業までにかかる費用について整理する。

東京通信大学

来尔坦 <u></u>	
所在地	東京都新宿区西新宿 1-7-3
在籍者数	1,702 名(会社員 42.9%、専門職(医療・福祉)13.3%、無職 9.9%
	※20195.1 現在
設置学部	情報マネジメント学部 情報マネジメント学科
	人間福祉学部 人間福祉学科
	社会福祉士(国家試験受験資格)
	精神保健福祉士(国家試験受験資格)
取得可能な	社会福祉主事(任用資格)
資格	社会調査士
	情報処理士
	上級情報処理士
選考方法	書類選考
	①e ラーニング(インターネットに繋がったデバイス(パソコン、スマホ、タブレ
出たの思想	ットなど.)で講義動画の視聴と小テスト(確認テスト)を行う。8 コマの受講+単
単位の取得 方法	位認定試験(もしくはレポート)で、1 単位取得可能。)
刀压	②スクーリング(社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士などの資格取得を目指
	す場合は通学のスクーリングが必要となる。)
初年度学費	220,000 円(入学金 20,000 円、授業料 180,000 円、学籍管理料 20,000 円)
	620,000 円(4 年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	· 1 年次 入学金 20,000 円+授業料 180,000 円
(概算)	· 2 年次 授業料 180,000 円
(19691)	3 年~4 年次 授業料 80,000 円
	· 学籍管理料 80,000 円 (4 年間合計)
スクーリン	※資格取得等を目指さない場合、スクーリング不要
グ費用	
W # + 15	①日本学生支援機構奨学金制度(貸与)
学費支援	②滞在サポート
	・スクーリング・実習期間中の滞在先を手軽な金額でサポート
	・学費が安い
特徴	・資格取得などを目指さない場合、スクーリングなどの通学の必要がない
	・アカデミック・アドバイザーによって、履修計画や学習方法のアドバイスをして
	もらえる(メールやビデオ通話を活用)
	・卒業論文(卒業研究)が不要
	・授業料免除制度がある

日本大学通信教育部

4.大字 进 信教育	•
所在地	東京都千代田区九段南 4-8-28
学生の属性	7,264 名(無職 46.0%、会社員 30.0%、個人営業 4.0%) ※2019.5.1 現在
設置学部	法学部【法律学科、政治経済学科】 文理学部【文学専攻(国文学)、文学専攻(英文学)、哲学専攻、史学専攻】 経済学部 商学部
取得可能な 資格 選考方法	中学校教諭 1 種・2 種免許状(国語・社会・英語) ※赤字は法学部・文理学部のみ 高等学校教諭 1 種免許状(国語・公民・地理歴史・英語) ※赤字は法学部・文理学部のみ 司書教諭 学芸員 公認会計士 ※商学部のみ 税理士 ※商学部のみ 書類選考(選考料 10,000 円)
単位の取得 方法	①リポート+科目習得試験方式(テキスト学習後にリポートを作成し、科目習得信を受験) ②スクーリング(面接授業またはメディア授業受講後、スクーリング最終日に授業内で試験、メディア授業の場合はインターネットを通して試験)
初年度学費	138,500 円 (入学金 30,000 円、授業料 100,000 円、補助教材費 5,000 円、準校友 会費 3,500 円)
卒業までに 必要な学費 (概算)	(4年間計) 【内訳】 ・1年次 入学金 30,000 円+授業料 100,000 円+補助教材費 5,000 円+準校友会費 3,500 円 ・2年次~4年次 108,500 円 (年額) ・スクーリング 1科目 20,000 円×16 回=320,000 円
スクーリン グ費用	1 科目 20,000 円×科目数
スクーリング時期と期間	①夏季スクーリング 時期:7月末~8月中旬 期間:3日間×5期 ②東京スクーリング 時期:4~5月、6月、10月、11月、2月 期間:3日間×4期 ③地方スクーリング 時期5月(大阪、福岡)、9月(仙台、大阪)、 期間:3日間×4期 ④メディア授業 時期:約2か月半の受講期間内に学習(通年)
スクーリン グ交通費	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円 ② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円 ③ 地下鉄等利用料 約 4,000 円 (4 日間) ④ 宿泊費 東京都内 (23 区内) 1 泊 9,000 円×3 泊=27,000 円 ⑤ ①+②+③+④=152,400 円 (1 回のスクーリングにかかる費用) ※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要
学費支援	①日本大学特待生(授業料半額) ②日本大学通信教育部奨学金(給付) ③日本大学通信教育部坂東奨学金(給付) ④日本学生支援機構奨学金(貸与)
特徴	・学費が安い ・メディア授業を受講することで、スクーリング費用は不要 ・特待生は授業料の免除を受けることができる ・日本大学独自の奨学金制度がある ・資料収集から文章の構成方法までを指導してもらえる



法政大学通信教育部

以人子进信教育	DV
所在地	東京都千代田区富士見 2-17-1
学生の属性	5,204 名(うち、就業者 70.2%、無職 27.3%、農林漁業従事者 2.3%)
ナエツ周江	※2019.5.1 現在
設置学部	経済学部【経済学科、商業学科】
	法学部【法律学科】
	文学部【日本文学科、史学科、地理学科】
	中学教諭一種免許状(国語・社会)
	高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・商業)
取得可能な	測量士補
資格	図書館司書
	図書館司書教諭
	社会教育主事(任用資格)
選考方法	書類選考
	①通信学習(テキスト学習後、課題レポートを提出し、単位習得試験合格後単位取
	得)
単位の取得	②スクーリング学習(教室で授業を受け、最終次元のスクーリング試験に合格で単
方法	<u>位取得)</u>
	③メディアスクーリング(インターネットを利用して自宅で学習後、単位修得試験
	会場での試験合格で単位修得)
初年度学費	120,000 円 (選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+教育費 80,000 円)
	680,000 円(4 年間計)
女衆ナズに	【内訳】 1 年次 翠老料 10 000 円 3 巻今 20 000 円 極寒料 90 000 円
卒業までに 必要な学費	│・1 年次 選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 80,000 円 │・2 年次~4 年次 授業料 80,000 円(年額)
必安な子賃 (概算)	・2 年次~4 年次 - 授業科 60,000 円(年額) ・スクーリング受講料(メディアスク―リング) - 320,000 円(1 科目 20,000 円×
(似 介)	「ヘケーサング支護科(グライ) ヘケーサング) 320,000] (1 科目 20,000] 16 回)
	- 10 回) ※その他スクーリング受講料 1 科目 15,000 円
	①夏季スクーリング
	○ダーバン ファイン 1000
	②冬季スクーリング
7 4 11 5	- 0 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·
スクーリン	③地方スクーリング
グ期間と日	時期:5月~7月、11月~12月 期間:連続3日間
程	④ゴールデンウィークスクーリング
	時期:ゴールデンウィーク期間中 期間:連続3日間
	⑤メディアスクーリング
	時期:4月上旬~7月下旬、10月上旬~1月下旬の間、いつでも
スクーリン	①スクーリング 1科目 15,000 円×科目数
グ費用	②メディアスクーリング 1 科目 20,000 円×科目数
7 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 / 11 /	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
スクーリングスを選出	③ 地下鉄等利用料 約 4,000 円(4 日間) ④ 宏泊弗 東京都中(22 区中) 1 泊 0 000 円 2 2 泊 - 27 000 円
グ交通費 	④ 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×3 泊=27,000 円
	│⑤ ①+②+③+④=152,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用) │※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要
	次メティア投業を受講することで、スケーサングにかかる旅賃は不安 ①法政大学通信教育部奨学金(給付)
学費支援	①本政人子通信教育的奖字金(桁竹) ②日本学生支援機構(JASSO)奨学金(貸与)
	少日本子主文版機構 (UN000)英子並 (貞子) - 学費が安い
特徴	・スクーリング単位を修得できるメディア授業(授業料とは別に、メディア授業受
	講料が必要)が充実(現地に出向かなくてもスクーリング単位が修得できる)
	周月170 2 久/ のプログ (分配の) 一曲円30 の く く のバノー ノンノ 千世の 図内 く こ のノ



慶應義塾大学 通信教育課程

惩我望入于 进	16 教育 林佳
所在地	東京都港区三田 2-15-45
学生の属性	8,550 名(うち会社員 39.7%、個人営業・自由業 10.3%、無職 18.9%) ※2019.5.1 現在
設置学部	文学部【哲学、史学、文学】
	経済学部【商学系を含む】
	法学部【法律学、政治学】
取得可能な	本子的 【本年子、政治子】 中学教諭一種免許状(<mark>国語・社会・英語</mark>) ※赤字は文学部のみ
資格	高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語) ※赤字は文学部のみ
選考方法	書類選考
237374	①通信授業(課題レポート+科目試験合格で単位習得)
	②スクーリング(面接授業受講後、スクーリング試験または課題レポート、科目試
兴	験課題レポート合格で単位修得)
単位の取得	③放送授業(インターネット配信による授業受講後、課題レポート+2回の科目試
方法	験の総合評価で単位修得)
	④メディア授業(パソコンで受講し、課題レポート2回+科目試験の総合評価で単
	位修得)【10 単位まで】
初年度学費	130,000 円(選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+年間登録料 10,000 円+教育費
	70,000 円+教材費 20,000 円)
	660,000 円(4 年間計)
+ ** + !-	· 1 年次 選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+年間登録料 10,000 円+教育費
卒業までに	70,000 円+教材費 20,000 円
必要な学費 (概算)	· 2 年~4 年次(各年) 年間登録料 10,000 円+教育費 70,000 円+教材費 20,000 円
(似 异)	・ - ・4 年次 - 卒業論文指導料 · 審査料 30,000 円
	・スクーリング(面接) 1 科目 10,000 円×10 回=100,000 円
	・スクーリング(メディア)1 科目 20,000 円×5 回=100,000 円
7 / 11 \ 1.	①夏季スクーリング
スクーリング期間と日	時期:8月 期間:連続6日間×3期間
7 期间とロ	②メディア授業
	時期:4月 期間:2か月
スクーリン	①スクーリング(面接) 1 科目 10,000 円×科目数
グ費用	②スクーリング (メディア) 1 科目 20,000 円×科目数
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③-1 地下鉄等利用料 約 12,000 円(12 日間) ③-2 地下鉄等利用料 約 7,000 円(7 日間)
スクーリン	(3)-2 地下鉄等利用将 - 約 7,000 円 (7 日間) ④-1 宿泊費 - 東京都内(23 区内) - 1 泊 9,000 円×12 泊=108,000 円
グ交通費	※2 期受講の場合
(概算)	④-2 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×7 泊=63,000 円
(190 , 47)	※1 期受講の場合
	⑤-1 ①+②+③-1+④-1=241,400円(1回のスクーリングにかかる費用)
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=198,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
I Me	※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要
卒業までの 費用	1,341,200 円(660,000【学費】+681,200 円【交通費】)
学費支援	②日本学生支援機構奨学金(貸与)
	・学費が安い
特徴	・他の通信制大学と比較して単位習得が難しい
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



産業能率大学

所在地	東京都世田谷区等々力 6-39-15
学生の属性	3,464 名 ※2019.3.1 現在
設置学部	情報マネジメント学部
WE 1 H	経営コース
	税務・会計マネジメントコース
	人材・組織マネジメントコース
24 × 7 —	ビジネス教養コース
学べるコー	心理マネジメントコース
ス	心理カウンセリングコース
	スポーツに学ぶマネジメントコース
	医療・福祉マネジメントコース
	ファイナンシャル・プランナーコース
取得可能な	なし
資格	
選考方法	書類選考
¥ / L o T- / P	①通信授業(課題レポート+科目試験合格で単位修得)
単位の取得	②スクーリング(2 日間のスクーリング授業に出席後、最終日の試験合格で単位修
方法	得) ③インターネット授業(e ラーニングでの授業を受講で単位修得)
 初年度学費	③1 フダーネット技業(e ブーニングでの技業を受講で単位修行) 240,000 円(選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 200,000 円)
初半及子貫	1,065,000 円(選号科 10,000 円千八字並 30,000 円千投業科 200,000 円)
	【内訳】
卒業までに	· 1 年次 選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 200,000 円
必要な学費	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 200,000 円
(概算)	・スクーリング(インターネット授業のみ) 1回 15,000円×15回=225,000円
	※通学スクーリング費用は、授業料に含まれる
スクーリン	①土日通学スクーリング
グ期間と日	時期:4月~8月、10月~2月の土日 期間:連続2日間(土日)
7 別間と日 1	②インターネット授業
	時期:通年 期間:2か月(2か月内であれば、いつでも受講可能)
スクーリン	インターネットスクーリング 1 科目 15,000 円×科目数
グ費用	① 机体 # 中心工气 # ¥ 700 B - 分作 1 400 B
スクーリン	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円 ② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
スクーリフ グ 交 通 費	② 机空券 - 石垣 初田 - 万垣 100,000 円 - 任復 120,000 円
一(概算)	④ 電
(ル オ)	⑤ ①+②+③+④=141,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	①上野通教奨学金制度(給付)
W # + 15	②校友会奨学金制度(給付)
学費支援	③校友会奨学金制度(給付)
	④日本学生支援機構の奨学金制度(貸与)
	・経営コースや税務・会計マネジメントコース、ファイナンシャルプランナーコー
特徴	スなど、社会で活かせるスキルを学べるコースが充実
	・科目修得試験が、WEBで受験できる
	・奨学金制度が充実
	・学費ローンの利用も可能



日本女子大学通信教育課程

	投 月酥性
所在地	東京都文京区目白台 2-8-1
	1,440 名 ※2019.5.1 現在
学生の属性	(会社員 23.6%、公務員・教員 31.3%、自由業・個人営業・農林水産業 5.0%、主
	婦・無職 30.2% ※2017.10 現在)
設置学部	家政学部【児童学科、食物学科、生活芸術学科】
	幼稚園教諭一種免許状
	中学教諭一種免許状(保健・家庭)
	高等学校教諭一種免許状(保健・家庭)
取得可能な	学校図書館司書教諭
資格	二級建築士
	木造建築史
	フードスペシャリスト(認定試験受験資格)
	繊維製品品質管理士
選考方法	書類選考
単位の取得	①テキスト学習(課題レポート+科目試験合格で単位修得)
方法	②スクーリング(課題、レポート、最終日の筆記試験のいずれかを合格で単位修得)
如左连带	191,480 円(選考料 11,000 円+入学金 30,000 円+授業料 150,000 円+保険料 480
初年度学費	円)
	792,500 円(4 年間計)
カ米ナズル	【内訳】
卒業までに必要な学費	・1 年次 選考料 11,000 円+入学金 30,000 円+授業料 150,000 円+保険料 480
	円
(概算)	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 150,000 円 保険料 340 円
	・スクーリング 1 回 10,000 円×15 回=150,000 円
スクーリン	①夏季スクーリング
グ期間と日	時期:8月 期間:連続3日または6日間×3期間
程	②集中スクーリング
	時期:5~7 月、11 月~1 月 期間:連続 3 日間
スクーリン	1 科目 10,000 円×科目数
グ費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③-1 地下鉄等利用料 約7,000円(7日間)
_ ,	③-2 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (3 日間)
スクーリン	④-1 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×7 泊=63,000 円
グ交通費	※2 期受講の場合
(概算)	④-2 宿泊費 東京都内(23 区内) 3 泊 9,000 円×3 泊=27,000 円
	※1 期受講の場合
	⑤-1 ①+②+③-1+④-1=191,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=151,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要 ①鉄送運賃の割引
学費支援	①鉄道運賃の割引 ・通学定期券購入のための通学証明書の発行を受け、鉄道運賃の割引(2 割)
	・迪子定期券購入のための迪子証明書の発行を受け、鉄道連員の割引(2 割) ②特別郵便料金
	②特別郵便料金 ・通信教育ではリポート・質問票の提出・返送などに対し第四種郵便が適用
	・通信教育ではリバート・負向素の徒由・返送などに対し第四種郵便が適用 ③勤労学生所得税控除
	③動力学生所特殊控除 ・年間所得が一定額以下の正科生は勤労学生控除受けることが可能
	・ 中間所得が一定額以下の正科生は動力学生控除受けることが可能 ・ 日本で唯一、家政学を学べる通信制大学
特徴	・日本で唯一、家政子を子へる通信制入子 ※正科生は女性のみ、科目履修生は男女とも入学可能
	<u>〜――――――――――――――――――――――――――――――――――――</u>



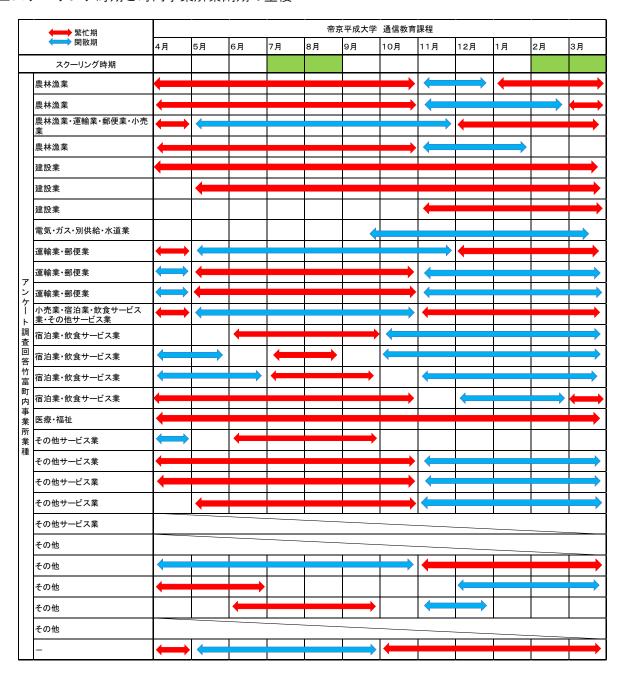
東京未来大学

ホネステ 所在地	古古初日立区工分曜町 2/ 10
加工地	東京都足立区千住曙町 34-12 1.152 ター※2010 5.1 現在
学生の属性	1,152 名 ※2019.5.1 現在
	①こども心理学部
	会社員 45.0%、教員 10.0%、個人営業・自由業 5%、無職 18.0%
	②モチベーション行動科学部
	会社員 25.0%、教員 14.0%、個人営業・自由業 14.0%、無職 7.0% ※2015.3 現
	在
設置学部	こども心理学部
	モチベーション行動科学部
	幼稚園教諭一種免許状
	小学校教諭一種免許状
四個二十十	認定心理士
取得可能な	「公認モチベーション・マネジャー」Basic 資格
資格	社会福祉主事(任用資格)
	児童福祉司(任用資格)
	児童指導員(任用資格)
選考方法	書類選考
どうカム	盲叔医兮 ①テキスト学習(学習後中間試験、単位修得試験合格で単位修得(両方とも WEB 試
単位の取得	①) イスト子首(子首後中间試験、単位修侍試験合格で単位修侍(両力とも WED 試 験))
単位の取侍 方法	駅// ②スクーリング(通学して授業受講により単位修得)
力法	
+n/= +++++	③メディア授業(インターネットを利用した WEB スクーリングで単位修得)
初年度学費	196,000円(選考料 10,000円+入学金 30,000円+授業料 156,000円)
NIK 1 1	814,000円(4年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	
(概算)	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 156,000 円
	・スクーリング 1 科目 10,000 円×15 回=150,000 円 ※別途教材費が必要
	①短期スクーリング
スクーリン	時期:11月、1月 期間:連続3日間
グ期間と日	②夏季スクーリング
7 朔間と日	時期:8月 期間:7日間×2回
1主	③メディア授業
	時期:通年 期間:受講後 1 か月(1 か月の間に、何回でも受講可能)
	1 科目 10,000 円×科目数
グ費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③-1 地下鉄等利用料 約 7,000 円 (7 日間)
	③-2 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (3 日間)
7 5 11 5	④-1 宿泊費 東京都内(23区内) 1泊9,000円×7泊=63,000円
スクーリン	※2 期受講の場合
グ交通費	④-2 宿泊費 東京都内(23区内) 3 泊 9,000円×3 泊=27,000円
	※1 期受講の場合
	⑤-1 ①+②+③-1+④-1=191,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=151,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要
	①貸与奨学金制度(日本学生支援機構)
学費支援	②提携教育ローン
J 7/ J/X	・(株)オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」
	・「2セメスター・8ターム制」学習システムを採用しており、単位修得率が高い
特徴	・ とピグスター・80 メーム前」子自システムを採用しており、単位修得率が高い ・ ・ にい分野の心理学を学べる
1寸1以	・単位習得試験が WEB で受験できる
	〒四日付売表別・WLUC又乗MCO



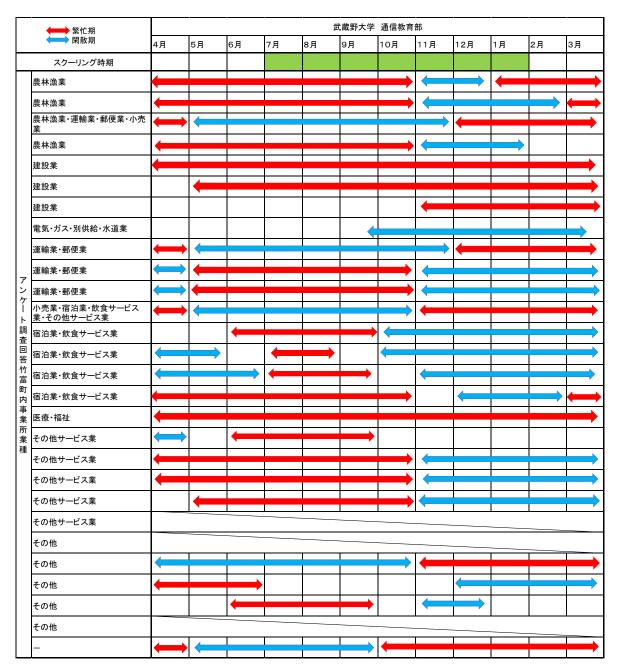
帝京平成大学 通信教育課程

所在地	東京都中野区中野 4-21-2
学生数	148 名 ※2019.5.1 現在
設置学部	現代ライフ学部(OA・プログラミング、会計・簿記・経営)
取得可能な	中学校教諭一種免許状(社会)
	高等学校教諭一種免許状(商業・地理歴史・公民・情報)
	学校図書館司書教諭
	図書館司書
資格	博物館学芸員
	社会教育主事(任用資格)
	社会福祉主事(任用資格)
選考方法	書類選考
出仕の取得	①テキスト学習(テキストでの学習後、レポート提出、科目修得試験合格で単位修
単位の取得	得)
方法	②スクーリング(通学して授業を受講し、スクーリング試験に合格すれば単位修得)
初年度学費	110,000 円(選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+授業料 80,000 円)
	375,000 円(4 年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	· 1 年次 選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+授業料 80,000 円)
必要な子員 (概算)	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 80,000 円
(1)M A	・スクーリング 1 科目 5,000 円×15 回=25,000 円
	※別途テキスト代
スクーリン	①夏季スクーリング
グ期間と日	時期:7月下旬~8月下旬 期間:連続5日間×4期
程	②春季スクーリング
	時期:2月上旬~3月上旬 期間:連続5日間×4期
クーリング	1 科目 5,000 円×科目数
費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
スクーリン グ 交 通 費 (概算)	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③ 地下鉄等利用料 約 14,000 円 (14 日間)
	④ 宿泊費 東京都内(23区内) 1泊9,000円 13泊117,000円
	⑤ ①+②+③+④=252,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
4+ AUL	夏季2期、春季2期
特徴	· 学費が安い



武蔵野大学 通信教育部

所在地	東京都西東京市新町 1-1-20
在籍者数	3,433 名 ※2019.5.1 現在
	人間科学部
設置学部	教育学部
	小学校教諭一種免許状
	中学校教諭一種免許状(国語・英語)
	高等学校教諭一種免許状(国語・書道・英語)
	社会福祉士(国家試験受験資格)
取得可能な	認定心理士
資格	児童福祉司(任用資格)
	児童指導員(任用資格)
	社会福祉主事(任用資格)
	净土真宗本願寺派教師
	生理人類史(受験資格)
選考方法	書類選考
	①テキスト学習(テキストでの学習後、レポート提出、科目修得試験合格で単位修得
単位の取得	(すべて WEB 上で可能))
革位の取得 方法	②スクーリング(通学して授業を受講し、スクーリング試験に合格すれば単位修得)
刀压	③メディア授業(録画されたスクーリング授業を視聴し、課題レポート提出で単位修
	得)
初年度学費	210,000 円(選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 160,000 円+補助教材費
彻平及子質	10,000円)
	832,500 円(4 年間計)
	【内訳】
卒業までに	・1 年次 選考料選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 160,000 円+補助教
必要な学費	材費 10,000 円
(概算)	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 160,000 円 補助教材費 10,000 円
	・スクーリング 1 回 7,500 円×15 回=112,500 円
	※別途実習費等が必要
スクーリン	①メディア授業
グ期間と日	時期:7月上旬~1月下旬、10月中旬~1月中旬 期間:受講可能期間内なら何度で
程	ŧ
スクーリン	1 科目 7,500 円×科目数
グ費用	
スクーリン	メディア授業で受講した場合、交通費不要
グ交通費	
	①学内奨学金(成績優秀者等、給付)
学費支援	· 武蔵野大学開学記念奨学金(一般) · 武蔵野大学開学記念奨学金(特別)
	· 武蔵野大学沼田奨学金 · 武蔵野大学高楠大蔵経記念奨学金
	・即如門主伝灯奉告法要記念奨学金・・武蔵野大学教育ローン利子補給奨学金
	·武蔵野大学後援会奨学金 ·武蔵野大学学修奨励金(特別奨励賞)
	・武蔵野大学学修奨励金(努力賞)
	②学外奨学金
	· JASSO 奨学金(日本学生支援機構)
4十 344	・メディア授業の受講により、スクーリングにかかる交通費をおさえることができる
特徴	・レポート提出や単位修得試験が WEB でできる



玉川大学 通信教育部

	(月)
所在地	東京都町田市玉川学園 6-1-1
在籍者数	│ 2,474 名(会社員 21.0%、無職 24.8%、教員 16.6%)
	※2019.5.1 現在
設置学部	教育学部
	幼稚園教諭一種・二種免許状
	小学校教諭一種・二種免許状
	中学校教諭一種・二種免許状(社会・数学)
取得可能な	高等学校教諭一種免許状(公民・地理歴史・数学)
資格	図書館司書
7.11	学芸員
	社会教育主事(任用資格)
	学校図書館司書教諭
選考方法	子校区音館の音教師 書類選考
医气力压	
出什么思治	①テキスト履修(テキストでの学習後、レポート提出(WEB)、その後科目修得試験
単位の取得	合格で単位修得) 「一〇フク」 リング屋板(巻巻) て短巻を変装し、 押士試験会校を講美しましたの担果
方法	②スクーリング履修(通学して授業を受講し、期末試験合格と講義レポートの提出
+n /- /- ++	で単位修得)
初年度学費	183,000円
	837,000円(4年間計)
卒業までに	
必要な学費	· 1 年次 183,000
(概算)	・2 年~4 年次(各年) 133,000 円
	・スクーリング 1 回 17,000 円×15 回=255,000 円
	①春季スクーリング
スクーリン	│ 時期:ゴールデンウィーク 期間:連続 4 日間
グ期間と日	②夏季スクーリング
程	時期:8 月 期間:6~7 日間×3 期
	③秋季スクーリング
- t- 11 ·	時期:9 月 期間:4 日間(連休を利用)
スクーリン	│ 1 科目 17,000 円×科目数
グ費用	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③-1 地下鉄等利用料 約 14,000 円(14 日間)
	③-2 地下鉄等利用料 約 4,000 円 (4 日間)
_ ,	④-1 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×13 泊=117,000 円
スクーリン	※2 期受講の場合
グ交通費	④-2 宿泊費 東京都内(23 区内) 3 泊 9,000 円×3 泊=27,000 円
(概算)	※1 期受講の場合
	$ \hat{\mathbb{G}} - 1 \hat{\mathbb{G}} + \hat{\mathbb{G}} + \hat{\mathbb{G}} - 1 + \hat{\mathbb{G}} - 1 = 252,400$ 円(1 回のスクーリングにかかる費用)※夏
	季2科目
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=152,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)※春
	季・秋季 W. A. (***) - 157 ** 157 *
))/ / !	※メディア授業を受講することで、スクーリングにかかる旅費は不要
学費支援	│ ①日本学生支援機構奨学金 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
特徴	・レポートの提出や履修状況の確認、申し込みなどが可能なポータルサイトが開設 ・・・・・
内区	されている



中央大学 法学部通信教育課程

)进行仪目标性 ·
所在地	東京都八王子市東中野 742-1
在籍者数	3,288 名 ※2019.5.1 現在
設置学部	法学部
取得可能な	弁護士
資格	
選考方法	書類選考
	①テキスト学習(テキストでの学習後、レポート作成、科目試験合格で授業単位修
単位の取得	(得)
方法	②スクーリング履修(レポート学習とスクーリング学習を受講後、スクーリング試
1 W	験に合格することで、授業科目単位とスクーリング単位を修得)
初年度学費	110,000円(選考料 10,000円+入学金 20,000円+授業料 80,000円)
	575,000円(4年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	・1 年次 110,000 円
(概算)	・2 年〜4 年次(各年) 80,000 円 ・スクーリング 1 科目(オンデマンド)15,000 円×15 回=225,000 円
	・スケーリング 科白(オンデャンド) 15,000 円 × 15 回 = 225,000 円 ・短期スクーリング 1 科目 6,000 円 ・夏季スクーリング 1 科目 6,000 円
	①短期スクーリング(全国主要都市)
	① 歴
スクーリン	②夏季スクーリング
グ期間と日	受象子パケー グラブ 時期:8月 期間:連続3日間×3期
程	③オンデマンドスクーリング
	時期:4~6月、7~9月、10~12月、1~3月 期間:2か月(計19時間)
スクーリン	
グ費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③-1 地下鉄等利用料 約 10,000 円(10 日間)
	③-2 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (3 日間)
	④-1 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×9 泊=81,000 円
スクーリン	※2 期受講の場合
グ交通費	④-2 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×2 泊=18,000 円
	⑤-1 ①+②+③-1+④-1=212,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)※夏
	季2期
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=142,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)※短 期
	│ ^拠 │※オンデマンドスクーリングを利用することでスクーリングにかかる交通費は不│
	次オンチャンドベケーサンクを利用することでベケーサングにかかる文庫員は小
学費支援	①デエ司 51記 試験、スクーリングに参加するための JR などの乗車券の割引
	②勤労学生の所得税控除
	所得税法に定められた「所得金額に対する勤労学生控除」が適用される
	・学費が安い
特徴	・メディア授業の活用で、通学でのスクーリングが不要(スクーリング交通費がか
	からない)



ビジネス・ブレークスルー大学

所在地	東京都千代田区二番町3番地麹町スクエア
在籍者数	372 名 ※2019.5.1 現在
設置学部	経営学部(グローバル経営学科、IT ソリューション学科)
取得可能な	なし
資格	
選考方法	面接
単位の取得	①オンライン学習(オンラインでのグループディスカッションや、課題、試験など
方法	の総合評価で単位修得)
抽左床坐 #	1,200,000 円(入学検定料 30,000 円+入学金 315,000 円+授業料 735,000 円+シ
初年度学費	ステム利用料 120,000 円)
	3,765,000 円(4 年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	・1 年次 入学検定料 30,000 円 入学金 315,000 円+授業料 735,000 円+システ
(概算)	ム利用料 120,000 円
	・2 年~4 年次(各年) 授業料 735,000 円 システム利用料 120,000 円
	・スクーリングなしで卒業可能(スクーリング科目が存在しない)
特徴	・学費が高い
	・世界で通用する人材育成を目指している

創価大学 通信教育部

四大学 通信教	
所在地	東京都八王子市東中野 742-1
在籍者数	7,614 名 ※2019.5.1 現在
	文学部
=0.000 224 4-5	経済学部
設置学部	法学部
	教育学部
	幼稚園教諭一種・二種免許状
取得可能な	奶煙岛教諭 種 一種光町板
資格	社会教育主事(任用資格)
具 省	日本語教員資格
\B * +:+	
選考方法	書類選考+小論文 「ステストスの光羽後、トポート作は、シロジャへやボジロ光
	①テキスト履修(テキストでの学習後、レポート作成、科目試験合格で授業科目単
	位修得)
単位の取得	②スクーリング(e ラーニングで前学習後、対面授業を受講し、スクーリング試験
方法	合格で単位修得)
7372	③メディア授業(オンデマンド)(インターネットを利用した学習のみで単位修得)
	④メディア授業 (リアルタイム) (テレビ会議システムを活用し、地方会場で受講す
	ることで単位修得)
初年度学費	121,000 円 (経済・法) か 125,000 円 (教育・文) (選考料 9,000 円+入学金 27,000
70 千皮于其	円+授業料 85,000 円(経済・法)か 89,000 円(教育・文))
	601,000円(経済・法)または 617,000円(教育・文)(4年間計)
	【内訳】
+ * + I-	・1 年次 選考料 9,000 円+入学金 27,000 円+授業料 85,000 円(経済・法)また
卒業までに	は 89,000 円 (教育・文)
必要な学費	・2 年~4 年次(各年) 授業料 85,000 円または 89,000 円
(概算)	・スクーリング(オンデマンド)1 科目 15,000 円×15 回=225,000 円
	・夏季、秋季スクーリング 1 科目 12,000 円
	・地方スクーリング 1 科目 15,000 円
	①夏季スクーリング
	時期:8月 期間:連続4日間×3期
	②秋季スクーリング
スクーリン	時期 10 月下旬~12 月上旬 期間:連続 2 日間
グ期間と日	③地方スクーリング(全国主要都市)
程	時期:5月~7月、12月 期間:連続2日間
	④メディア授業
	時期:4月~7月、10月~1月 期間:期間内であればいつでも
スクーリン	
グ費用	
7 兵川	
	① 加化 1 亩 0 1 0 0 1 1 0 0 1
	③-1 地下鉄等利用料 約12,000円(12日間)
	③ - 1 地下鉄等利用料 約 12,000 円 (12 日間) ③ - 2 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (3 日間)
	④ - 1 宿泊費 東京都内(23 区内)
スクーリン	低 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ベクーリフ グ交通費	※2 朔爻講の場合 ④−2 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×2 泊=18,000 円
ク父通賞	④-2 佰泊貨 東京都内 (23 区内) - 1 泊 9,000 円 × 2 泊 - 1 6,000 円 ⑤-1 ①+②+③-1+④-1=232,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	※夏季2期 係2.① ② ② 2.④ 2-142400 円(1回の3カール)がにかかる弗田)
	⑤-2 ①+②+③-2+④-2=142,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)
	※秋季1期 ※オディス探票を利用することできた。リングにかかる充済患は不悪
	※メディア授業を利用することでスクーリングにかかる交通費は不要
学費支援	①返金不要の給付型奨学金
	· 創価大学給付奨学金 · 創価大学牧口記念教育基金会学部奨学金

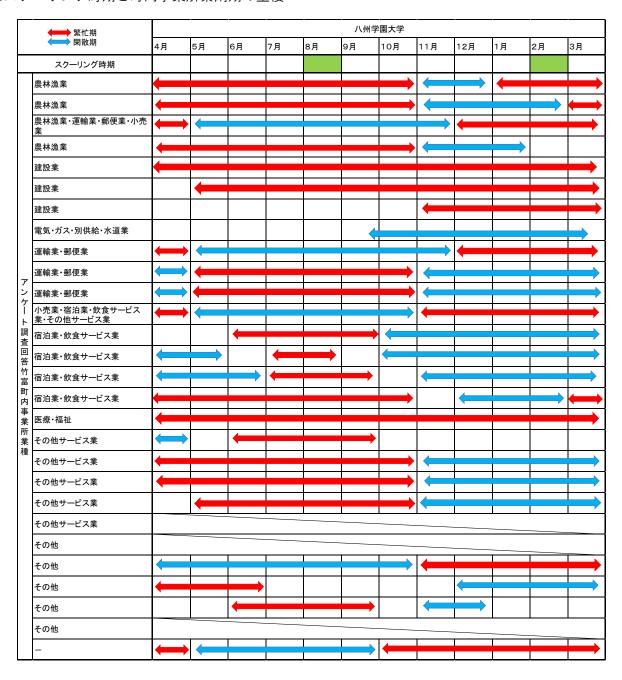
第五章 通信制大学に関する基本情報の整理

	· 創価大学創友会奨学金 · 兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金制度 · 創価大学特別奨学生 · 創価大学特待生奨学金
特徴	· 学費が安い · 学生専用のポータルサイトやレポート作成の講義など、学生支援が充実している



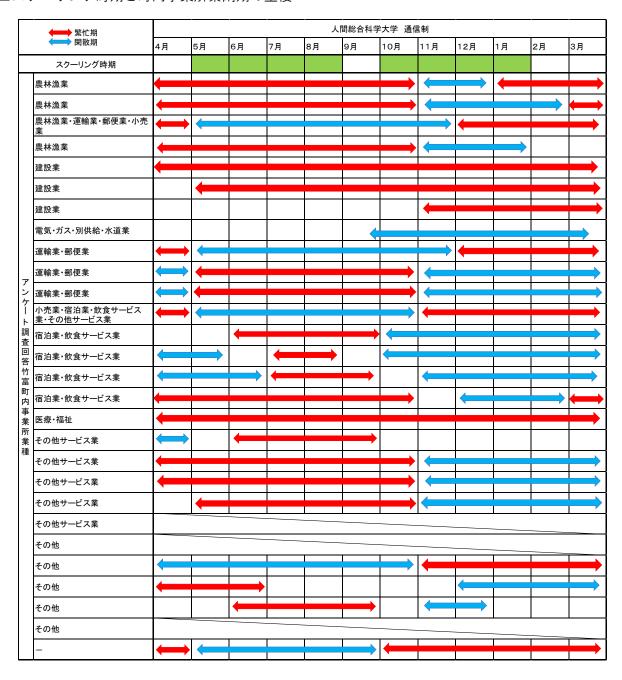
八州学園大学

所在地	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42
	2,749 名(社会人学生数 57.3%) ※2019.5.1 現在
設置学部	生涯学習学部
	図書館司書
	学校図書館司書教諭
取得可能な	学芸員
資格	社会教育主事(任用資格)
	社会福祉主事(任用資格)
選考方法	書類選考
	①テキスト履修(教科書で学習し、課題レポートを二回提出後、科目修得試験合格
単位の取得	で単位修得)
方法	②スクーリング(自宅または通学で受講し、最終試験合格で単位修得)
初年度学費	185,000 円 (入学金 20,000 円+学籍管理料 24,000 円+授業料 141,000 円)
	1,055,000 円 (4 年間計)
+ * + - 1-	【内訳】
卒業までに	· 1 年次 入学金 20,000 円+学籍管理料 24,000 円+授業料 141,000 円
必要な学費	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 141,000 円 学籍管理料 24,000 円
(概算)	・スクーリング 1 回 25,000 円×15 回=375,000 円
	※テキスト代が別途必要
	①夏季スクーリング
スクーリン	時期:8月 期間:連続3日間×4期
グ期間と日	②冬季スクーリング
程	時期:2月 期間:連続3日間×4期
	※メディア授業も同時期
スクーリン	1 科目 25,000 円×科目数
グ費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
	③ 地下鉄等利用料 約 12,000 円(12 日間)
スクーリン	④ 宿泊費 東京都内(23 区内) 1 泊 9,000 円×11 泊=99,000 円
グ交通費	※2 期受講の場合
	⑤ ①+②+③-1+④-1=232,400 円(1 回のスクーリングにかかる費用)※夏季
	2期・冬季 2期
	※インターネット授業を利用することでスクーリングにかかる交通費は不要
学費支援	①学費サポートプラン
	入学金や授業料などの学納金を提携業者(株式会社オリエントコーポレーション)
	が学費負担者に代わって学校側に立て替え、学費負担者より提携業者に毎月分割で ませいまる
	支払いする ・通学不要で卒業できる(交通費がかからない)
特徴	
	│・スクーリングや科目試験がすべてインターネット上でできるので、スクーリング │にかかる交通費が不要
	にかかる父趙貧が不安 ・入学時期が1年に4回
	・八子吋朔パー十に4回



人間総合科学大学 通信制

所在地	埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288
在籍者数	2,007 名(社会人学生 57.1%) ※2019.5.1 現在
設置学部	人間科学部
	養護教諭一種免許状
版 但 可 处 大	看護師・准看護師・保険養成所専任教員
取得可能な 資格	認定心理士
貝伯	認定レクリエイター
	心身健康アドバイザー
選考方法	書類選考
	①テキスト履修(テキスト学習後、課題を提出し、科目修了試験合格で単位修得(い
単位の取得	ずれも WEB で可))
方法	②スクーリング(面接授業を受講し、最終試験合格で単位修得)
7572	③インターネット授業(インターネット授業を受講し、章ごとの確認テスト合格後、
1 W +h	最終レポート提出で単位修得)
初年度学費	320,000 円 (選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 280,000 円)
+ W + - ,-	1,160,000 円(4 年間計)
卒業までに	【内訳】
必要な学費	· 1 年次 選考料 10,000 円+入学金 30,000 円+授業料 280,000 円
(概算)	・2 年~4 年次(各年) 授業料 280,000 円 ※テキスト代が別途必要
	()スクーリング
スクーリン	サスターランタ
グ期間と日	②インターネット授業
程	時期:4~9 月、10 月~3 月 期間:受講期間内であればいつでも
スクーリン	スクーリング費用は授業料に含まれているため不要
グ費用	VIV VIV XVIIIOIIXXVIIII GUITO GUITOVIX
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔羽田 片道約 60,000 円 往復約 120,000 円
スクーリン	③ 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (3 日間)
スクーリフ グ交通費	④ 宿泊費 東京都内(23区内) 1泊9,000円×2泊=18,000円
クダ連貨	※2 期受講の場合
	⑤ ①+②+③-1+④-1=142,400円(1回のスクーリングにかかる費用)
	※インターネット授業を利用することでスクーリングにかかる交通費は不要
学費支援	①日本学生支援機構奨学金(貸与)
	・通学不要で卒業できる(交通費がかからない)
特徴	・スクーリングや科目試験がすべてインターネット上でできる
	・単位修得試験がすべてインターネットで受験可能



近畿大学 通信教育部

所在地	大阪府東大阪市小若江 3-4-1
在籍者数	1,268名 ※2019.5.1 現在
設置学部	法学部 法律学科
	図書館司書
取得可能な	学校図書館司書教諭
資格	税理士
	社会保険労務士
選考方法	書類選考
	①通信授業(テキスト学習後、課題を提出し、科目修了試験合格で単位修得(いず
単位の取得	れも WEB で可))
方法	②メディア授業(自宅等から WEB を通じて講義映像を視聴し学習)
	③スクーリング(大学キャンパスなどの会場で開講される面接授業を受講)
初年度学費	170,000 円(選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+授業料 150,000 円)
卒業までに	630,000 円(4 年間計)
必要な学費	【内訳】
必要な子質 (概算)	・1 年次 選考料 10,000 円+入学金 20,000 円+授業料 150,000 円
(恢身)	· 2 年~4 年次(各年) 授業料 150,000 円
スクーリン	①夏季スクーリング
グ期間と日	時期:8月 期間:連続3日間×4期
程	②メディア授業
.—	時期:5~7月、11月~1月 期間:受講期間内であればいつでも
スクーリン	スクーリング費用は授業料に含まれているため不要
グ費用	
	① 船代 竹富⇔石垣 片道 700 円 往復 1,400 円
	② 航空券 石垣⇔大阪 片道約 55,300 円 往復約 110,600 円
スクーリン	③ 地下鉄等利用料 約 3,000 円 (7 日間)
グ交通費	④ 宿泊費 東大阪市内 1 泊 7,000 円×6 泊=42,000 円
/ 人心員	※2 期受講の場合
	⑤ ①+②+③-1+④-1=174,400円(1回のスクーリングにかかる費用)
	※メディア授業を利用することでスクーリングにかかる交通費は不要
	・学費が安い
特徴	・科目終末試験をWEBで受けることが可能
	・メディア授業を受けることで、スクーリングにかかる費用を抑えられる



第六章 調査資料

1. 事業所アンケート調査票

◆竹富町内事業所アンケート調査◆

このアンケートは、竹富町内の全事業所を対象として実施し、各事業所における 人材の過不足状況や今後求める人材象・スキル等を調査するものです。お忙しいと ころ誠に恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

-回答にあたってのお願い-

- ●回答欄への記入は、直接このアンケート調査票にボールペンや濃い鉛筆等でしっかり記入してください。
- ●回答は、設問ごとの指示に従い、該当する番号に〇印をつけてください。「〇はいくつでも」と記載されているものについては、該当する番号すべてに〇印をつけてください。一部、数値や内容を記入していただくものがあります。
- ●回答後は、同封の返信用封筒に入れ、**令和元年 12 月 25 日 (水) までに**投函してください(切手は不要です)。

問1. まずは、貴事業所のことについておたずねします。(○はそれぞれ 1 つ)

所在地	〒 −
事業所名	
記入者	
連絡先	TEL: FAX:
F1. 業種	1. 農林漁業2. 鉱業・採石業3. 建設業4. 製造業5. 電気・ガス・熱供給・水道業6. 情報通信業7. 運輸業・郵便業8. 卸売業9. 小売業10. 金融・保険業11. 不動産業12. 学術研究・専門技術サービス業13. 宿泊業・飲食サービス業14. 生活関連サービス・娯楽業15. 教育・学習支援業16. 医療・福祉17. その他サービス業18. その他
F2. 事業所 形態	1. 単独事業所 2. 本社・本店(他に支社・支店がある) 3. 支社・支店・営業所
F3. 従業員 数	1. 5 人未満 2. 5~9 人 3. 10~19 人 3. 20~29 人 4. 30~39 人 5. 40 人以上

問2. 社員の出身地のおおよその比率についてお答えください。

竹富町出身者	事業所従業員の	%
沖縄県内(竹富町以外)出身者	事業所従業員の	%
沖縄県外出身者	事業所従業員の	%

問3. 貴社における人材確保に係る不足感の状況について、どのように感じていますか。(正社員、非正社員のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	かなり不足	やや不足	不足していない	非正社員はいない
正社員数	1	2	3	
非正社員数	1	2	3	4

問3で、「かなり不足」「やや不足」と回答した方におたずねします。それ以外の方は、問10へ お進みください。

問4 どのような職種・職務で人手不足が生じていますか。(〇はいくつでも)

間4. とのよつな恥	載種・職務で人 手 不足か生していますか	。(しはい、フィゼ)
	1. 科学研究者、技術者	2. 医師、薬剤師、保健師、看護師、保育士など
 専門的・技術的職業	3. 弁護士、司法書士、公認会計士、社会保険労務士	4. 教職員
守门时,这侧时侧米	5. 記者、編集者など	6. 美術・写真家、デザイナーなど
	7. その他専門的・技術的職業	
管理的職業	8. 会社・団体の経営者・役員など	9. その他管理的職業 (課長以上の役職など)
	10. 一般事務、会計事務、外勤事務など	11. その他の事務職
事務・販売	12. 卸・小売・飲食販売、訪問・移動販売など	13. 不動産仲介・売買、各種金融・保険外交
	14. その他販売業	
	15. 家政婦、家事手伝い、ホームヘルパーなど	16. 理美容
サービス職業	17. 浴場・クリーニング職など	18. 飲食物調理業
リーこへ収未	19. 接客業(バー、映画館、旅館等)	20. マンション・ビル・駐車場管理人
	21. 介護施設職員	22. その他サービス
保安職業	23. 警備員等	
農林漁業	24. 農林水産業従事	25. 植木職、造園師など
長外洪未	26. その他農林漁業従事	
	27. 鉄道運転従事	28. 自動車運転者
運輸・通信	29. 船舶・航空機運転従事	30. 通信技術従事
	31. 電話交換・郵便外務員	32. その他運輸・通信従事
	33. 製造業従事(工業、飲食料品等を含む)	34. その他製造業従事
製造・労務	35. 建設機械運転作業	36. 電気工事等作業従事
	37. 建設労務作業従事	38. 清掃員等その他労務作業
その他	39. その他()

問5. 現在不足している従業員の、大まかな人数について教えてください。

不足している従業員数:約()人

)

問6. 人手不足が生じている理由について教えてください。(○はいくつでも)

- 3. 定年退職者などが多かったため
- 5. 社員募集のノウハウがないため
- 7. その他(
- 1. 社員を募集しても、人が集まらない 2. 応募はあったが求める人材ではなかった
 - 4. 若年社員の早期退職者が多いため
 - 6. 募集・雇用にかかる資金がないため

問7. 人手不足により、どのような影響がありましたか。(○はいくつでも)

- 1. 需要の増加に対応できない
- 3. 事業運営上の支障がある
- 5. 事業の縮小を迫られている
- 7. 社員の負担が増加した
- 9. その他(

- 2. 技術・ノウハウの伝承ができない
- 4. 新規事業や事業拡大計画が停滞している
- 6. 業務の抜本的な改革が必要になった
- 8. 人件費などのコストの増加

問8. 現在、どのような人材を求めていますか。男性と女性それぞれについてお答えください。(○ はいくつでも)

)

	1. 即戦力となる中堅社員(30~40代)	2. 第2新卒者(20代)	
男性	3. 新規学卒者 (大卒、院卒等)	4. 新規学卒者(高卒)	
	5. パート・アルバイト	6. その他 ()
	1. 即戦力となる中堅社員(30~40代)	2. 第2新卒者(20代)	
女性	3. 新規学卒者 (大卒、院卒等)	4. 新規学卒者(高卒)	
	5. パート・アルバイト	6. その他 ()

問9. 現在、どのような職種・職務の人材を求めていますか。(○はいくつでも)

四9. 郊江、この	アンの神・日本神・中の一方でアンプログラン	, (
	1. 科学研究者、技術者	2. 医師、薬剤師、保健師、看護師、保育士など
専門的・技術的職業	3. 弁護士、司法書士、公認会計士、社会保険労務士	4. 教職員
	5. 記者、編集者など	6. 美術・写真家、デザイナーなど
	7. その他専門的・技術的職業	
管理的職業	8. 会社・団体の経営者・役員など	9. その他管理的職業 (課長以上の役職など)
	10. 一般事務、会計事務、外勤事務など	11. その他の事務職
事務・販売	12. 卸・小売・飲食販売、訪問・移動販売など	13. 不動産仲介・売買、各種金融・保険外交
	14. その他販売業	
	15. 家政婦、家事手伝い、ホームヘルパーなど	16. 理美容
サービス職業	17. 浴場・クリーニング職など	18. 飲食物調理業
リーこへ収未	19. 接客業(バー、映画館、旅館等)	20. マンション・ビル・駐車場管理人
	21. 介護施設職員	22. その他サービス
保安職業	23. 警備員等	
農林漁業	24. 農林水産業従事	25. 植木職、造園師など
辰	26. その他農林漁業従事	
	27. 鉄道運転従事	28. 自動車運転者
運輸・通信	29. 船舶・航空機運転従事	30. 通信技術従事
	31. 電話交換・郵便外務員	32. その他運輸・通信従事
	33. 製造業従事(工業、飲食料品等を含む)	34. その他製造業従事
製造・労務	35. 建設機械運転作業	36. 電気工事等作業従事
	37. 建設労務作業従事	38. 清掃員等その他労務作業
その他	39. その他 ()

問10. 問8でお答えいただいた職種・職務について、求める人材象(職種やスキルなど)を具体的に教えて下さい。

に教えて下さい。
●求める人材の仕事内容やスキル・資格について、具体的にお答えください。
【求める人材の仕事内容】
【求めるスキル・資格等】

ここからは全員の方におたずねします。

問11. 御社の繁閑期について、それぞれ教えてください。

1. 繁忙期	() 月~ ()月
2. 閑散期	() 月~()月

問12、繁忙期に必要な人員数について教えてください。(○は1つだけ)

1. 繁忙期	()人
2. 閑散期	()人

問12で、「繁忙期」と「閑散期」の必要人員数が違うと回答した方におたずねします。それ以外 の方は、問14へお進みください。

問13. 繁忙期と閑散期人員確保の状況について教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 繁忙期も閑散期も、人員数は変わらない (繁忙期に新規で雇用することはない)
- 2. 繁忙期は、場合によっては派遣社員やアルバイトなど新規で雇用することがある
- 3. 繁忙期は、必ず派遣社員やアルバイトなど新規で雇用している
- 4. その他(

ここからは全員の方におたずねします。

問14. 今後新たな人材を雇うことになった場合、どの程度の給与の支払いが可能ですか。就労形 態別にお答えください。

正社員(新規学卒者・高校卒業)	月収	万円
正社員(新規学卒者・大学卒業)	月収	万円
正社員 (第二新卒者)	月収	万円
正社員(即戦力となる中堅者)	月収	万円
パート・アルバイト	時給	円

問15. 今後新たな人材を雇うことになった場合、就業者に住居に関するどのような福利厚生を提供することが可能ですか。(Oはいくつでも)

	供することが	が可能ですか	ゝ .(Oはいくつでも	5)	
1.	住居の提供	(家賃なし)			
2.	住居の提供	(家賃あり、	家賃補助なし)		

- 3. 住居の提供(家賃あり、家賃補助あり)
- 4. 一定額の家賃補助(最大補助額 毎月 円)
- 5. 住居に関する福利厚生はない

問16. 今後新たな人材を雇うことになった場合、年末年始と夏季休暇を付与することはできますか。(Oは 1 つ)

- 1. 年末年始と夏季休暇のどちらも付与できる 2. 年末年始のみ付与できる
- 3. 夏季休暇のみ付与できる
- 4. どちらも付与できない

問17. 貴事業所では、従業員に対してダブルワーク(副業)を認めていますか。(〇は 1 つ)

1. 1年を通して認めている

- 2. 繁忙期の時期以外では認めている
- 3. 1年を通して認めていない
- 問18. 竹富町では、高齢化や担い手不足などにより町内の労働力の低下が危惧されていることから、労働力確保に向けた事業を計画しています。その一環として、町・町内事業者・通信制大学が連携し、町内で働きながら通信制大学へ通う仕組みを構築し、対象学生に竹富町が学費を助成する事業の導入を目指していますが、この制度が導入された場合、活用して新たな労働力を確保したいと思いますか。(○は1つ)
 - ※沖縄県内出身者の∪ターン、沖縄県外出身者の 「ターンも含みます。

1. 活用したいと思う

2. 活用したいとは思わない

問18で、「1. 活用したいと思う」と回答した方におたずねします。それ以外の方は、問21へ お進みください。

問19. 活用したいと思う理由について教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 人材不足が解消できそうだから
- 2. 人材の優劣に関係なく労働力を確保できそうだから
- 3. 優秀な人材が確保できそうだから
- 4. 働きながら必要なスキルを身につけることができそうだから
- 5. 竹富町内での人材確保が可能になるから
- 6. 労働力の町外流出に歯止めがかけられるから
- 7. 多額の投資をすることなく労働力が確保できそうだから
- 8. その他()

問20、活用するにあたり、現時点で想定される課題・不安などを教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 全額助成でない場合の事業所負担がむずかしい(できない)
- 2. 求める人材と働きながら学びたい人材がマッチするか
- 3. 事業対象の人材とその他の人材の人事労務管理が適切に行えるか
- 4. 事業対象者が途中で退学し離職しないか
- 5. 事業対象者が大学を卒業しても継続して就労してもらえるか
- 6. 学業を優先して業務が滞ることがないか
- 7. 竹富町内で働きたいと思う人材がいるか
- 8. 対象となる人材に事業の周知ができるか
- 9. 大学や役所との連携ができるか
- 10. 事業活用の手続きが複雑ではないか
- 11. 事業所として、あらたな人材の受け入れ態勢が整っていない
- 12. 通信制大学の仕組みがよくわからない
- 13. その他(

問18で、「2. 活用したいとは思わない」と回答した方におたずねします。それ以外の方は、問23へお進みください。

)

問21. 活用したいと思わない理由について教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 全額助成でない場合の事業所負担がむずかしい(できない)
- 2. 求める人材と働きながら学びたい人材がマッチするとは思えないから
- 3. 事業対象の人材とその他の人材の人事労務管理が適切に行えるかわからないから
- 4. 事業対象者が途中で退学し離職する可能性があるから
- 5. 事業対象者が大学を卒業しても継続して就労してもらえるか分からないから
- 6. 学業を優先して業務が滞る可能性があるから
- 7. 竹富町内で働きたいと思う人材がいるとは思わないから
- 8. 対象となる人材に事業の周知ができるかわからないから
- 9. 大学や役所との連携ができるかわからないから
- 10. 事業活用の手続きが複雑そうだから
- 11. 事業所として、あらたな人材の受け入れ態勢が整っていないから
- 12. 通信制大学の仕組みがよくわからないから
- 13. その他()

問22. 活用したいと思わない理由が改善された場合、制度活用の可能性が出てくると思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 活用の可能性は大いにある
- 2. 活用の可能性はややある
- 3. 活用の可能性はあまりない
- 4. 活用の可能性はない

ここからは全員の方におたずねします。

問23. 働きながら通信制大学へ通う仕組みができた場合、通信制大学の学費の全部を負担、または一部を負担することはできますか。(○は 1 つだけ)

1. 全額負担できる	2. 一部負担できる【	円まで】
3. 負担はできない		
問24. 竹富町内で人材を確保するうえて	での課題について自由にご回答ください。	

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

2. 石垣市内高校生アンケート調査票

◆高校生の進学・就職に関するアンケート調査◆

このアンケートは、石垣市内の高等学校に通学する生徒を対象として実施し、高等学校卒業後の進学・就職等に関する意識を調査するものです。ご協力をお願いいたします。

-回答にあたってのお願い-

- ●回答欄への記入は、直接このアンケート調査票にボールペンや濃い鉛筆等でしっかり記入してください。
- ●回答は、設問ごとの指示に従い、該当する番号に〇印をつけてください。「〇はいくつでも」と記載されているものについては、該当する番号すべてに〇印をつけてください。一部、内容を記入していただくものがあります。
- ●調査票の記入、記入後の提出は、クラス担任の先生の指示に従ってください。

問1. あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問2. あなたの出身地をお答えください。(○は1つ)

1. 竹富町	2. 石垣市
3. 与那国町	4. その他 ()

問3. あなたが今住んでいる地域をお答えください。(○は 1 つ)

問4. 卒業後の進路についてお答えください。(○は1つ)

1.	進学(大学)	2. 進学(短大・専門学校など)	
3.	就職	4. 起業	
5.	家業を継ぐ(家業を手伝う)	6. その他()	

問5. 問4でお答えいただいた進路に進む際に、希望する地域はどこですか。(○は1つ)

1. 石垣市	2. 竹富町 (島)
3. 与那国町	4. 沖縄本島
5. 沖縄県外	6. その他 ()

10. その他(

◎問5の希望する地域に、「1. 石垣市」「2. 竹富町」「3. 与那国町」と回答しなかった方におたずねします。それ以外の方は、問8へお進みください。

問6. 他の地域に進学または就職したいと思う理由はなんですか。(○はいくつでも)

1.	竹富町や石垣市に希望する進学先・就職先がないから
2.	希望する収入が得られない
3.	予定している進学先・就職先のほうが暮らすのに便利そうだから
4.	竹富町や石垣市に魅力を感じないから
5.	竹富町や石垣市に執着がないから(竹富町や石垣市である必要がない)
6.	予定している進学先・就職先の地域に実家または親戚がいるから
7.	竹富町や石垣市に知り合いや友達が少ないから
8.	他に気に入っているまちがあるから
9.	実家を離れたいから(他の地域で生活してみたいから)

問7. 進学または就職した後、いずれは石垣市や竹富町、与那国町に戻ってきたいと思いますか。 (○は1つ)

1.	思う	2.	どちらかといえば思う
3.	あまり思わない	4.	思わない
5.	わからない		

◎問7で、「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と回答した方におたずねします。それ以外の方は、問9へお進みください。

問8. 戻ってきたいと思う地域はどこですか。(○は1つ)

1. 石垣市	2. 竹富町 (島)
3. 与那国町	4. その他 ()

ここからは、全員の方におたずねします。

問9. 竹富町では、働きながら通信制大学に通う補助制度の導入を検討しています。制度が導入された場合、仕事をしながら<u>通信制大学※</u>に通うことについて、興味がありますか。(〇は 1 つ)

1. 興味がある	2. 興味はない
----------	----------

※通信制大学とは

働きながら学びたい、大学キャンパスへ通えないといった人たちの学習ニーズに応えて創られた 教育の仕組みです。通学制の大学よりも学費が安く、働きながら学べる等のメリットがありま す。卒業後は、通学制の大学卒業者と同様に、学士の学位を取得することができます。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。